平成２８年度

市民意識調査報告書

蕨市マスコットコットキャラクター「ワラビー」

蕨　　市

目次

調査の概要

１　目的 …… 1
２　調査内容 …… 1
３　調査方法 …… 1
４　回収結果 …… 1

調査の結果

【まちへの愛着】
問１　「自分のまち」としての愛着 …… 2
問２　愛着を感じている理由 …… 4

【永住意識】
問３　永住意識 …… 6
問４　住みたいと思う理由 …… 8
問５　住みたいと思わない理由 …… １２

【まちづくり】
＜防災について＞
問６　防災への備え …… １６
問７　災害発生時の情報取得 …… １８
＜自転車における交通安全について＞
問８　自転車の安全利用 …… １９
問９　ヘルメット未着用・保険未加入の理由 …… １９
＜子育てについて＞
問１０　子育てのしやすさ …… ２０
問１１　子育てしやすいと思う理由 …… ２２
問１２　子育てしやすいまちづくりのために大切なこと …… ２４
＜高齢期に大切なことについて＞
問１３　高齢期に大切なこと …… ２６
問１４　高齢期を生き生きと過ごすために大切な環境 …… ２８
＜まちのにぎわいについて＞
問１５　商店街・大型店の利用頻度 …… ３０
問１６　商店街への要望 …… ３２

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞
問１７　健康に対する意識 ……３４
問１８　運動・スポーツの頻度 ……３５
問１９　運動・スポーツの種類 ……３６
＜ごみの減量化について＞
問２０　ごみの減量やリサイクルへの関心 ……３８
問２１　ごみを減らすための取り組み ……３９
＜市民活動について＞
問２２　地域等での活動（現在の状況、今後の意向） ……４０
問２３　地域等での活動の参加促進に必要なこと ……４２
＜市民参加について＞
問２４　市政の計画づくりやまちづくりへの参加意向 ……４４
問２５　市の情報の取得方法 ……４６
＜協働のまちづくりについて＞
問２６　協働のまちづくりを進めるための行政の取り組み ……４７
問２７　協働のまちづくりを進めるための市民の取り組み ……４８

【重点施策】
問２８　重点施策（重要度・満足度）……４９

回答者の属性

ア　地区 ……５６
イ　性別 ……５６
ウ　年齢層 ……５６
エ　職業 ……５７
オ　通勤・通学地 ……５７
カ　住宅形態 ……５７
キ　居住年数 ……５８
ク　家族構成 ……５８

調査の概要

１　目的

この調査は、まちの将来像「安心とにぎわい　みんなにあたたかい　日本一のコンパクトシティ蕨」の実現を目指して、市民のまちづくりに対する意見や要望、満足度などを把握し、まちづくりの理念「みんなで未来の蕨を創る」に基づき、市民と行政が一体となったまちづくりを推進していく上で必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

２　調査内容

1）　まちへの愛着
2）　永住意識
3）　まちづくり
　（ア）防災について
　（イ）自転車における交通安全について
　（ウ）子育てについて
　（エ）高齢期に大切なことについて
　（オ）まちのにぎわいについて
　（カ）健康づくり、運動・スポーツについて
　（キ）ごみの減量化について
　（ク）市民活動について
　（ケ）市民参加について
　（コ）協働のまちづくりについて
4）　重点施策

３　調査方法

1）調査期間　　平成28年8月５日から8月31日まで
2）調査対象　　市内在住の20歳以上の男女
3）対象者数　　1，000人
4）抽出方法　　住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出。
5）調査方法　　行政連絡員による送付、郵便による回答

４　回収結果

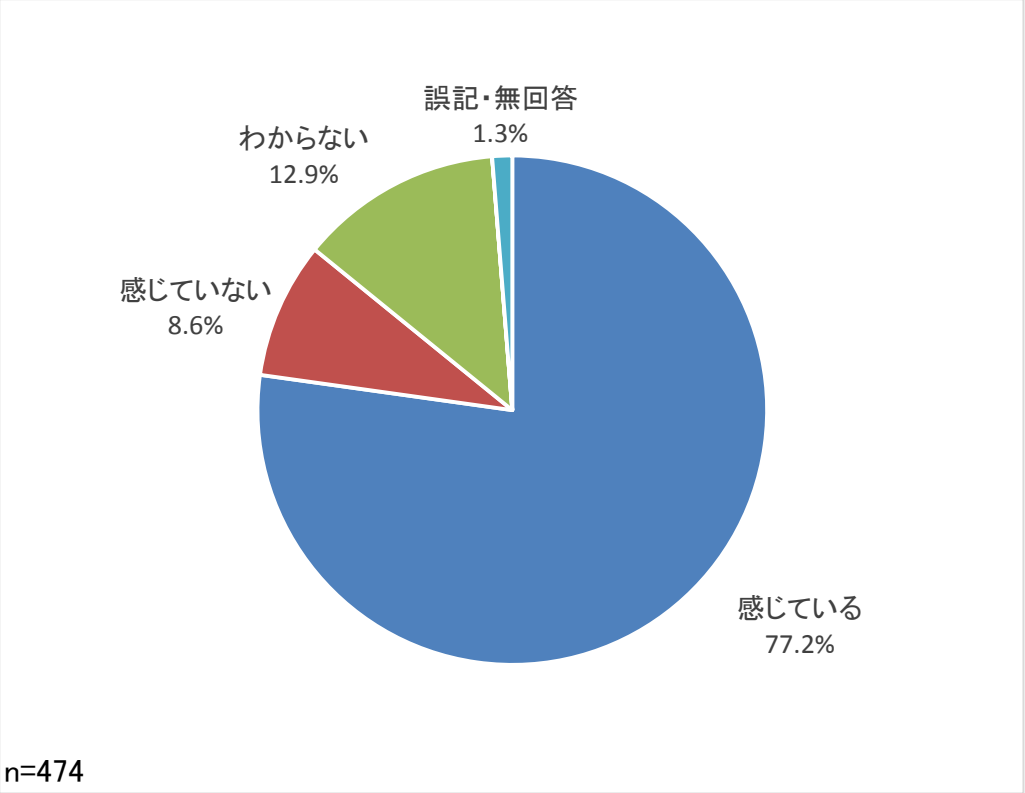
対象者1，000人に対し、474人から回答があり、回収率は47．4％。

調査の結果

【まちへの愛着】

問1　あなたは、蕨市に「自分のまち」としての愛着を感じていますか。（〇印は1つ）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
感じている	366	77.2%	1
感じていない	41	8.6%	3
わからない	61	12.9%	2
誤記・無回答	6	1.3%	

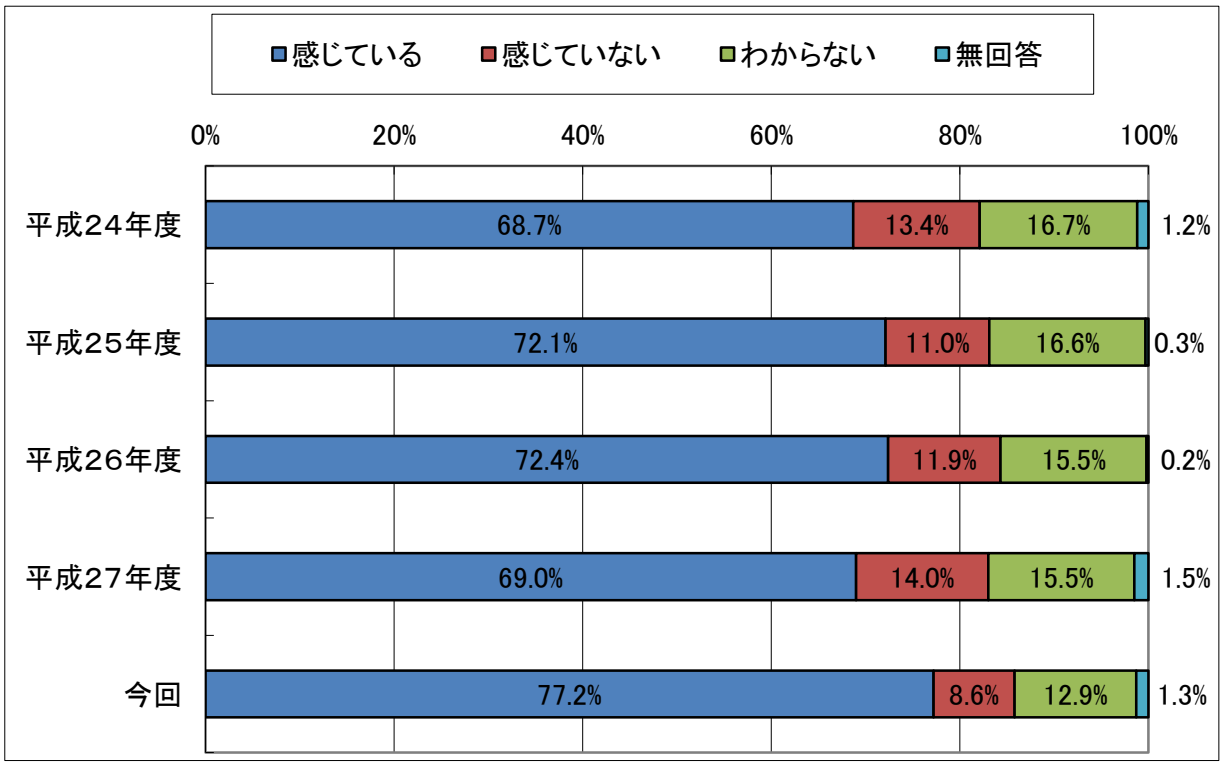


蕨市に自分のまちとしての愛着を感じている人は77.2％で、約8割の結果となっています。
一方、「感じていない」は8.6％、「わからない」は12.9％となっています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、近年は70％前後で推移していた「感じている」の割合が、今回は77.2%まで増加しています。

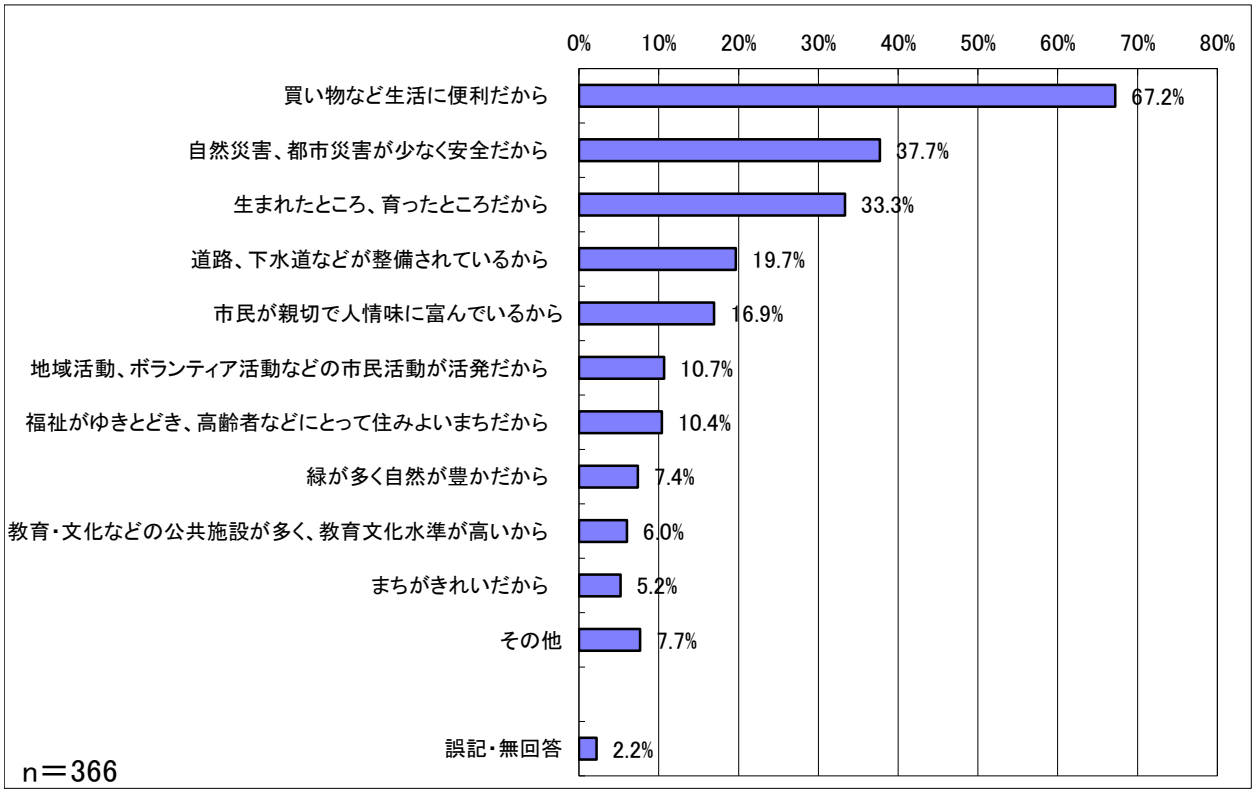
●まちへの愛着（平成24年度からの推移）



問1で「感じている」と答えた人のみ回答

問2　愛着を感じている理由はなんですか。（○印は3つ以内）

回答対象者：366人	件数	割合	順位
買い物など生活に便利だから	246	67.2%	1
自然災害、都市災害が少なく安全だから	138	37.7%	2
生まれたところ、育ったところだから	122	33.3%	3
道路、下水道などが整備されているから	72	19.7%	4
市民が親切で人情味に富んでいるから	62	16.9%	5
地域活動、ボランティア活動などの市民活動が活発だから	39	10.7%	6
福祉がゆきとどき、高齢者などにとって住みよいまちだから	38	10.4%	7
緑が多く自然が豊かだから	27	7.4%	8
教育・文化などの公共施設が多く、教育文化水準が高いから	22	6.0%	9
まちがきれいだから	19	5.2%	10
その他	28	7.7%	―
誤記・無回答	8	2.2%	



蕨市に自分のまちとしての愛着を感じていると答えた人に、その理由をたずねたところ、1位は「買い物など生活に便利だから」が67.2%、以下、「自然災害、都市災害が少なく安全だから」が37.7%、「生まれたところ、育ったところだから」が33.3%、「道路、下水道などが整備されているから」が19.7%と続いています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、平成27年度に減少した「買い物など生活に便利だから」の割合が59.4％から67.2％に大きく増加しています。

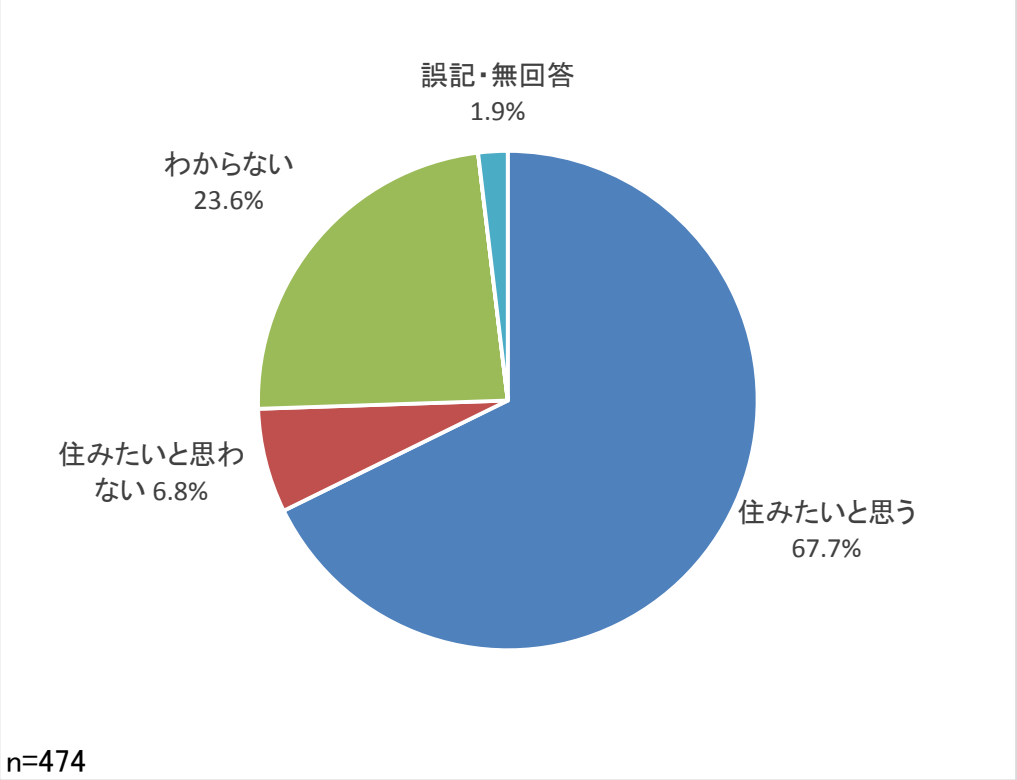
●愛着を感じている理由上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	買い物など生活に便利だから 48.6%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 41.5%	生まれたところ、育ったところだから 33.0%	道路、上下水道などが整備されているから 24.0%	市民が親切で人情味に富んでいるから 14.1%
平成25年度	買い物など生活に便利だから 52.0%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 35.5%	道路、下水道などが整備されているから 23.8%	生まれたところ、育ったところだから 23.4%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.8%
平成26年度	買い物など生活に便利だから 64.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 43.2%	生まれたところ、育ったところだから 30.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.1%	緑が多く自然が豊かだから 11.7%
平成27年度	買い物など生活に便利だから 59.4%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 40.1%	生まれたところ、育ったところだから 31.1%	道路、下水道などが整備されているから 23.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 13.1%
今回	買い物など生活に便利だから 67.2%	自然災害、都市災害が少なく安全だから 37.7%	生まれたところ、育ったところだから 33.3%	道路、下水道などが整備されているから 19.7%	市民が親切で人情味に富んでいるから 16.9%

【永住意識】

問3　あなたは、これからもずっと蕨市に住みたいと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
住みたいと思う	321	67.7%	1
住みたいと思わない	32	6.8%	3
わからない	112	23.6%	2
誤記・無回答	9	1.9%	－

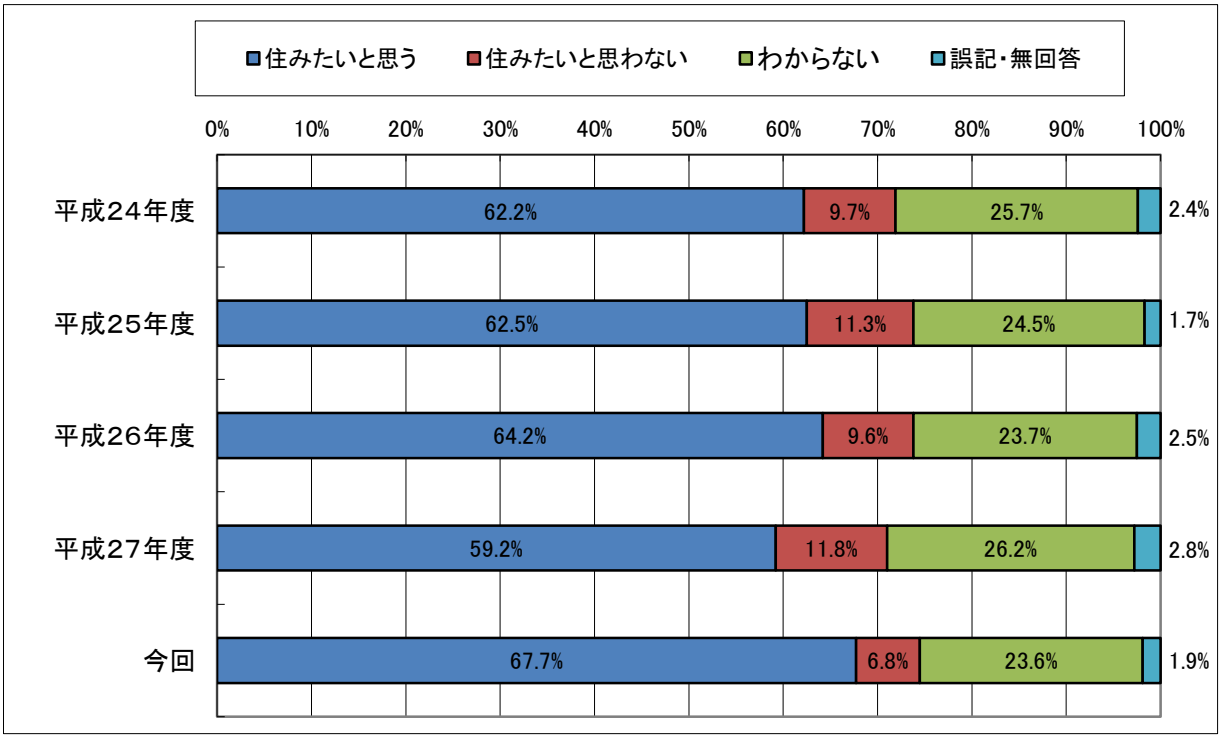


永住の意向についてたずねたところ、住みたいと思う人は67.7%、住みたいと思わない人は6.8%となっています。
一方、23.6%の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、近年は60％前後で推移していた「住みたいと思う」の割合が、今回は67.7%まで増加しています。また、同じく10%前後で推移していた「住みたいと思わない」の割合も6.8%まで低下しています。

●永住意識（平成24年度からの推移）

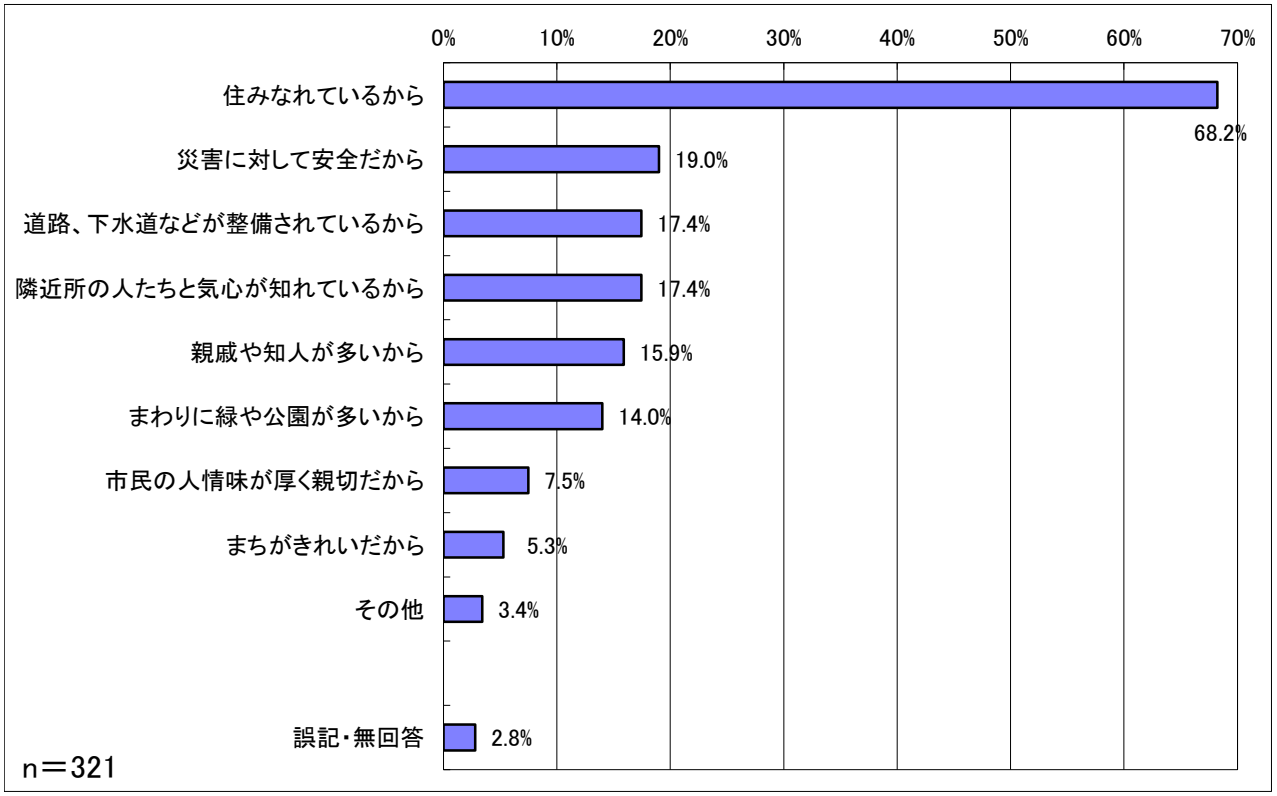


問3で「住みたいと思う」と答えた人のみ回答

問4 住みたいと思う理由はなんですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：321人	件数	割合	順位
住みなれているから	219	68.2%	1
災害に対して安全だから	61	19.0%	2
道路、下水道などが整備されているから	56	17.4%	3
隣近所の人たちと気心が知れているから	56	17.4%	3
親戚や知人が多いから	51	15.9%	5
まわりに緑や公園が多いから	45	14.0%	6
市民の人情味が厚く親切だから	24	7.5%	7
まちがきれいだから	17	5.3%	8
その他	11	3.4%	―
誤記・無回答	9	2.8%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「住みなれているから」が68.2%で最も多く、次いで「災害に対して安全だから」が19.0%、「道路、下水道などが整備されているから」、「隣近所の人たちと気心が知れているから」が17.4%と続いています。

＜経年変化＞

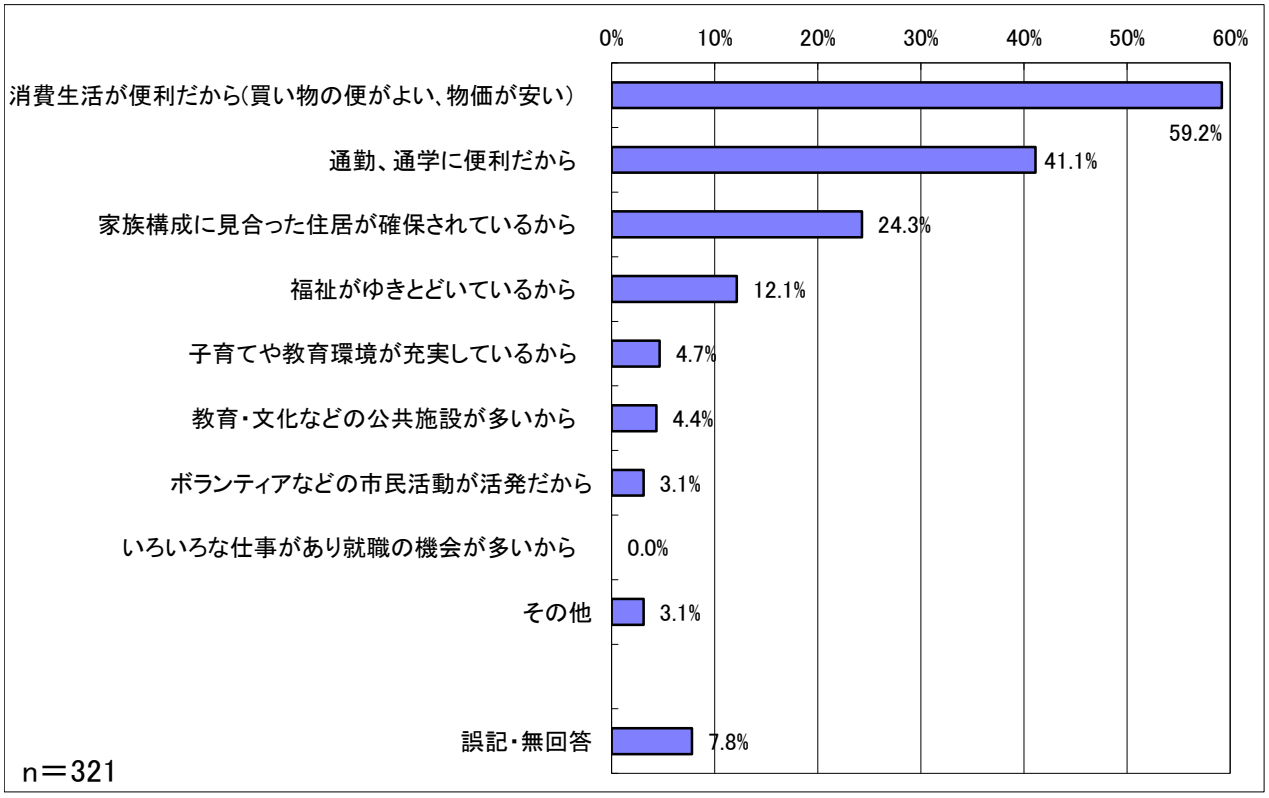
平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、近年は60%前後で推移していた「住みなれているから」の割合が68.2%まで伸びています。

●住みたいと思う環境上の理由 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	住みなれているから 62.0%	道路、下水道などが整備されているから 23.4%	災害に対して安全だから 19.1%	隣近所の人たちと気心が知れているから 18.7%	まわりに緑や公園が多いから 15.4%
平成25年度	住みなれているから 50.9%	道路、下水道などが整備されているから 21.6%	災害に対して安全だから 19.4%	隣近所の人たちと気心が知れているから 15.8%	まわりに緑や公園が多いから 14.4%
平成26年度	住みなれているから 60.1%	災害に対して安全だから 26.7%	道路、下水道などが整備されているから 18.9%	まわりに緑や公園が多いから 14.6%	親戚や知人が多いから 13.2%
平成27年度	住みなれているから 59.6%	災害に対して安全だから 21.1%	道路、下水道などが整備されているから 19.3%	隣近所の人たちと気心が知れているから 19.1%	親戚や知人が多いから 11.9%
今回	住みなれているから 68.2%	災害に対して安全だから 19.0%	道路、下水道などが整備されているから 隣近所の人たちと気心が知れているから 17.4%		親戚や知人が多いから 15.9%

●生活上の理由

回答対象者:321人	件数	割合	順位
消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)	190	59.2%	1
通勤、通学に便利だから	132	41.1%	2
家族構成に見合った住居が確保されているから	78	24.3%	3
福祉がゆきとどいているから	39	12.1%	4
子育てや教育環境が充実しているから	15	4.7%	5
教育・文化などの公共施設が多いから	14	4.4%	6
ボランティアなどの市民活動が活発だから	10	3.1%	7
いろいろな仕事があり就職の機会が多いから	0	0.0%	8
その他	10	3.1%	―
誤記・無回答	25	7.8%	



今後も蕨市に住みたいと答えた人に、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「消費生活が便利だから(買い物の便がよい、物価が安い)」が59.2%と最も多く、次いで「通勤、通学に便利だから」が41.1%、「家族構成に見合った住居が確保されているから」が24.3%で上位となっています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い）」の割合が近年ではもっとも高くなっています。

●住みたいと思う生活上の理由 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 57.4%	通勤、通学に便利だから 41.6%	家族構成に見合った住居が確保されているから 26.4%	福祉がゆきとどいているから 11.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 7.2%
平成25年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 56.8%	通勤、通学に便利だから 37.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 22.1%	教育・文化などの公共施設が多いから 9.9%	福祉がゆきとどいているから 9.5%
平成26年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 48.8%	通勤、通学に便利だから 43.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 25.6%	福祉がゆきとどいているから 11.4%	子どもの教育に便利だから 7.1%
平成27年度	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 56.5%	通勤、通学に便利だから 25.8%	家族構成に見合った住居が確保されているから 19.1%	福祉がゆきとどいているから 9.3%	教育・文化などの公共施設が多いから 5.6%
今回	消費生活が便利だから（買い物の便がよい、物価が安い） 59.2%	通勤、通学に便利だから 41.1%	家族構成に見合った住居が確保されているから 24.3%	福祉がゆきとどいているから 12.1%	子育てや教育環境が充実しているから 4.7%

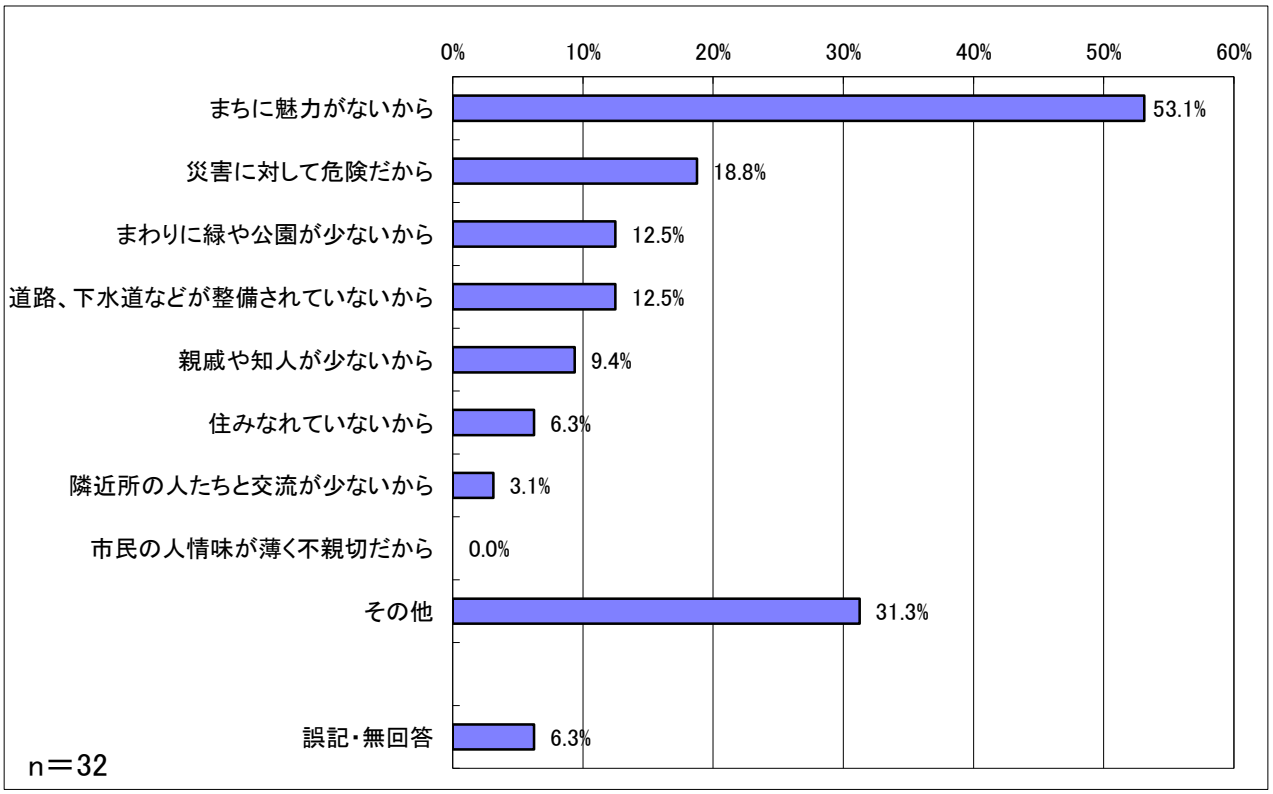
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問3で「住みたいと思わない」と答えた人のみ回答

問5 住みたいと思わない理由はなんですか。最も近い理由を下欄からそれぞれお選びください。（○印はそれぞれ2つ以内）

●環境上の理由

回答対象者：32人	件数	割合	順位
まちに魅力がないから	17	53.1%	1
災害に対して危険だから	6	18.8%	2
まわりに緑や公園が少ないから	4	12.5%	3
道路、下水道などが整備されていないから	4	12.5%	3
親戚や知人が少ないから	3	9.4%	5
住みなれていないから	2	6.3%	6
隣近所の人たちと交流が少ないから	1	3.1%	7
市民の人情味が薄く不親切だから	0	0.0%	8
その他	10	31.3%	―
誤記・無回答	2	6.3%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、環境上の理由としては、「まちに魅力がないから」が53.1%と最も多く、次いで「災害に対して危険だから」が18.8%、「まわりに緑や公園が少ないから」、「道路、下水道などが整備されていないから」が12.5%と続いています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、昨年度大きく減少した「まちに魅力がないから」の割合が再び50%を超えています。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

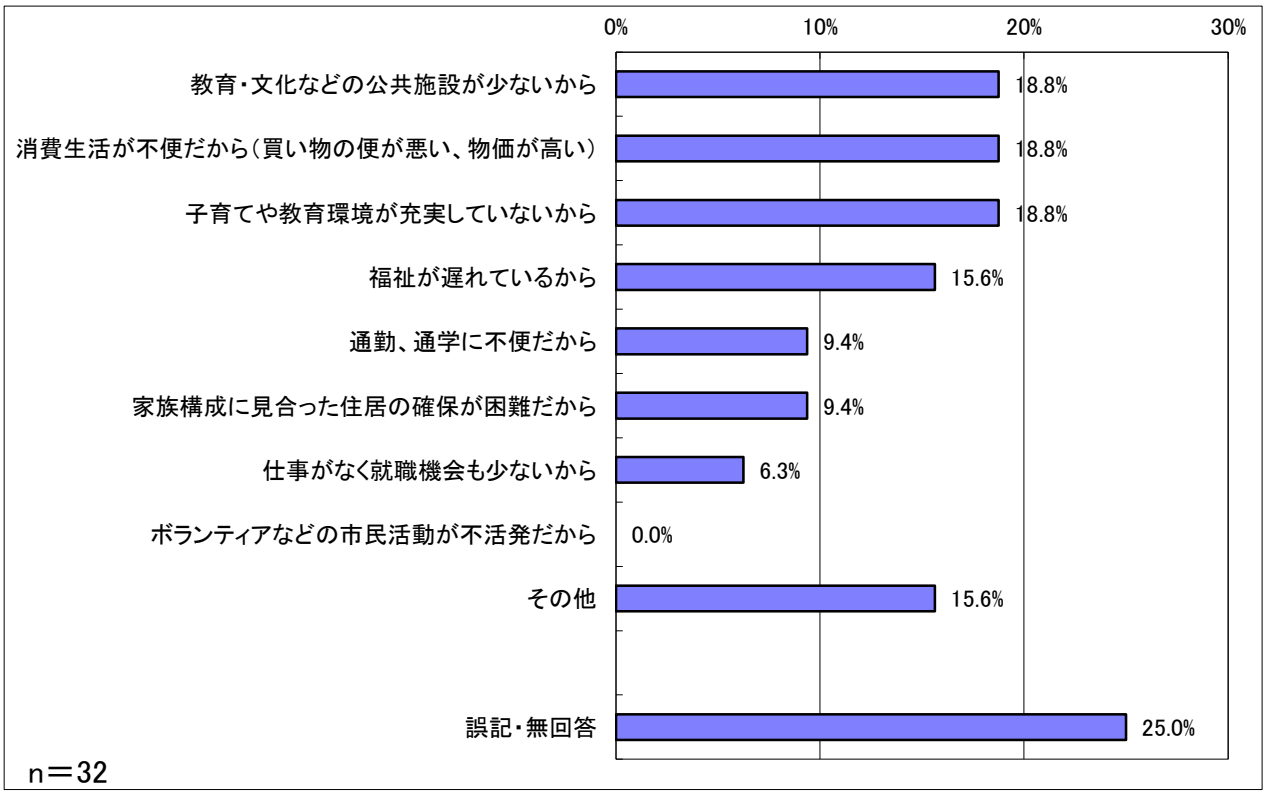
●住みたいと思わない環境上の理由 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	まちに魅力がないから 55.8%	道路、下水道などが整備されていないから まわりに緑や公園が少ないから 12.6%		市民の人情味が薄く不親切だから 親戚や知人が少ないから 11.6%	
平成25年度	まちに魅力がないから 52.5%	災害に対して危険だから 20.0%	まわりに緑や公園が少ないから 17.5%	市民の人情味が薄く不親切だから 15.0%	親戚や知人が少ないから/隣近所の人たちと交流が少ないから 10.0%
平成26年度	まちに魅力がないから 57.1%	親戚や知人が少ないから まわりに緑や公園が少ないから 住みなれていないから 11.9%			隣近所の人たちと交流が少ないから 9.5%
平成27年度	まちに魅力がないから 38.0%	まわりに緑や公園が少ないから 14.0%	住みなれていないから 12.0%	災害に対して危険だから 10.0%	道路、下水道などが整備されていないから 8.0%
今回	まちに魅力がないから 53.1%	災害に対して危険だから 18.8%	まわりに緑や公園が少ないから 道路、下水道などが整備されていないから 12.5%		親戚や知人が少ないから 9.4%

※「その他」は除く

●生活上の理由

回答対象者:32人	件数	割合	順位
教育・文化などの公共施設が少ないから	6	18.8%	1
消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)	6	18.8%	1
子育てや教育環境が充実していないから	6	18.8%	1
福祉が遅れているから	5	15.6%	4
通勤、通学に不便だから	3	9.4%	5
家族構成に見合った住居の確保が困難だから	3	9.4%	5
仕事がなく就職機会も少ないから	2	6.3%	7
ボランティアなどの市民活動が不活発だから	0	0.0%	8
その他	5	15.6%	―
誤記・無回答	8	25.0%	



蕨市に住みたいと思わないと答えた人に対し、その理由をたずねたところ、生活上の理由としては、「教育・文化などの公共施設が少ないから」、「消費生活が不便だから(買い物の便が悪い、物価が高い)」、「子育てや教育環境が充実していないから」の3つが18.8%で最も多くなっています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、毎年、1位の項目が入れ替わっています。上位の項目の割合は2割前後の年が多く、各項目の割合に大きな差が見られないことから、理由は多様化していることが読み取れます。
※母数が少ないことを考慮する必要があります。

●住みたいと思わない生活上の理由 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	教育・文化などの公共施設が少ないから 24.2%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 20.0%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 通勤、通学に不便だから 18.9%		福祉が遅れているから 14.7%
平成25年度	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 27.5%	教育・文化などの公共施設が少ないから 25.0%	子どもの教育に不便だから 17.5%	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 12.5%	通勤、通学に不便だから 10.0%
平成26年度	福祉が遅れているから 21.4%	通勤、通学に不便だから 16.7%	教育・文化などの公共施設が少ないから 11.9%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 9.5%	子どもの教育に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから／仕事がなく就職機会も少ないから 7.1%
平成27年度	家族構成に見合った住居の確保が困難だから 18.0%	教育・文化などの公共施設が少ないから 16.0%	福祉が遅れているから 15.0%	通勤、通学に不便だから 14.0%	消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 13.0%
今回	教育・文化などの公共施設が少ないから 消費生活が不便だから（買い物の便が悪い、物価が高い） 子育てや教育環境が充実していないから 18.8%			福祉が遅れているから 15.6%	通勤、通学に不便だから／家族構成に見合った住居の確保が困難だから 9.4%

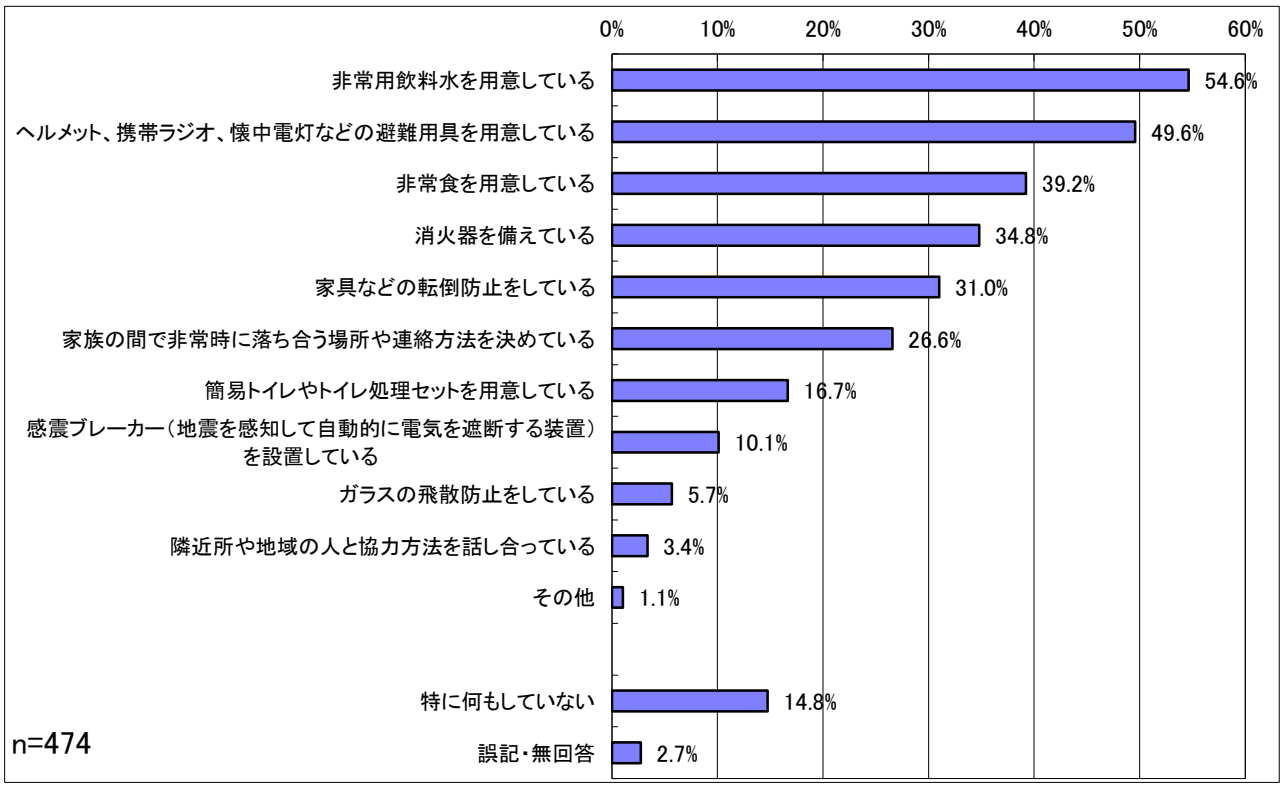
※「その他」は除く
※平成28年度に選択肢の表現を見直し

【まちづくり】

＜防災について＞

問6　あなたの家では、地震などの災害に備えて何か準備をしていますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
非常用飲料水を用意している	259	54.6%	1
ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している	235	49.6%	2
非常食を用意している	186	39.2%	3
消火器を備えている	165	34.8%	4
家具などの転倒防止をしている	147	31.0%	5
家族の間で非常時に落ち合う場所や連絡方法を決めている	126	26.6%	6
簡易トイレやトイレ処理セットを用意している	79	16.7%	7
感震ブレーカー（地震を感知して自動的に電気を遮断する装置）を設置している	48	10.1%	8
ガラスの飛散防止をしている	27	5.7%	9
隣近所や地域の人と協力方法を話し合っている	16	3.4%	10
その他	5	1.1%	―
特に何もしていない	70	14.8%	
誤記・無回答	13	2.7%	



災害への備えについてたずねたところ、「非常用飲料水を用意している」が54.6%で最も多く、次いで「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」が49.6%、「非常食を用意している」が39.2%となっており、物品の備えに関することが上位になりました。

また、およそ80%の人が何らかの災害に対する備えをしていると回答しています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、「非常用飲用水を用意している」、「ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している」、「非常食を用意している」といった上位3位までの構成に変化はありません。

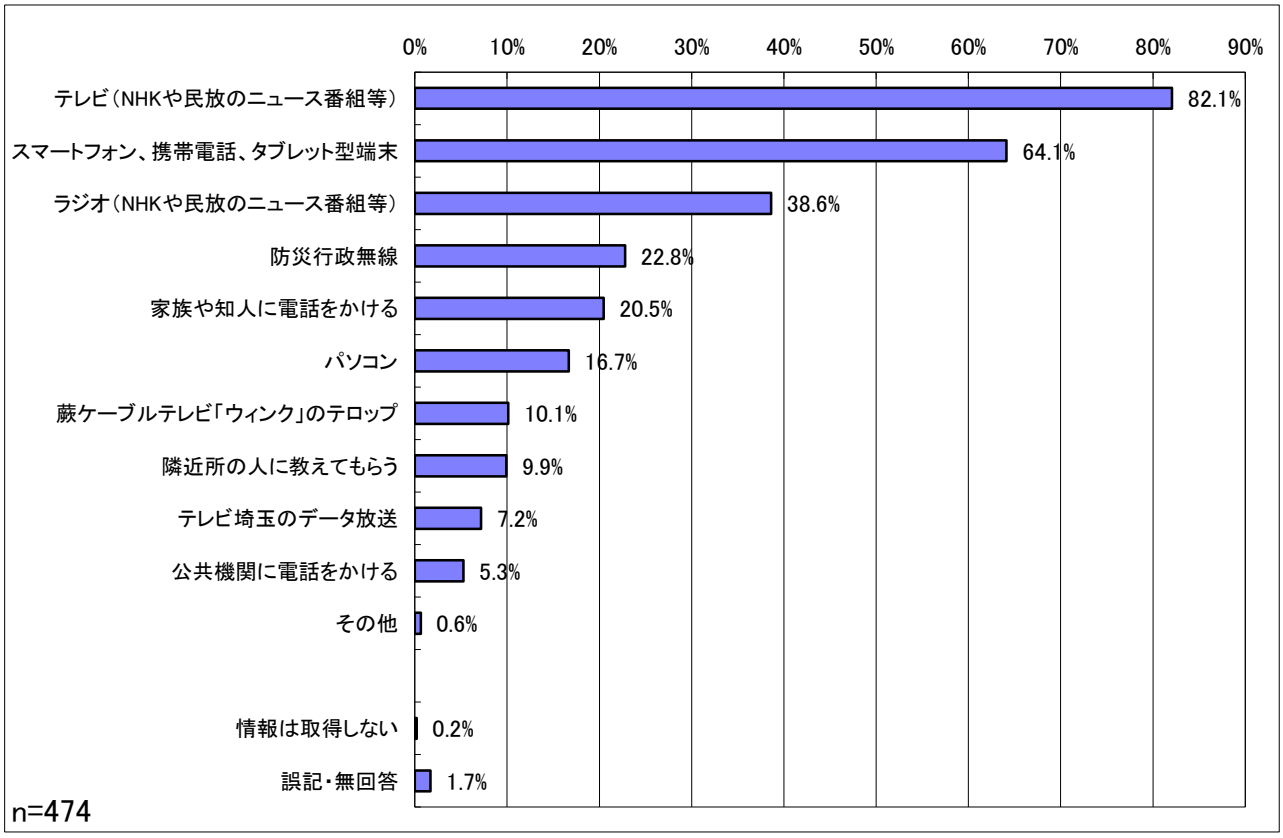
●災害に備えて準備していること 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	非常用飲料水を用意している 54.2%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 52.1%	非常食を用意している 41.1%	消火器を備えている 37.3%	家具などの転倒防止をしている 36.0%
平成25年度	非常用飲料水を用意している 53.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.1%	非常食を用意している 40.8%	家具などの転倒防止をしている 39.4%	消火器を備えている 34.6%
平成26年度	非常用飲料水を用意している 52.5%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 50.9%	非常食を用意している 44.3%	家具などの転倒防止をしている 34.7%	消火器を備えている 33.1%
平成27年度	非常用飲料水を用意している 52.7%	ヘルメット、携帯ラジオ、ローソクなどの避難用具を用意している 48.5%	非常食を用意している 40.8%	消火器を備えている 35.3%	家族の間で落ち合う場所や連絡方法を決めている 29.5%
今回	非常用飲料水を用意している 54.6%	ヘルメット、携帯ラジオ、懐中電灯などの避難用具を用意している 49.6%	非常食を用意している 39.2%	消火器を備えている 34.8%	家具などの転倒防止をしている 31.0%

※平成28年度に選択肢の表現を見直し

問7　あなたは災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得しますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
テレビ（NHKや民放のニュース番組等）	389	82.1%	1
スマートフォン、携帯電話、タブレット型端末	304	64.1%	2
ラジオ（NHKや民放のニュース番組等）	183	38.6%	3
防災行政無線	108	22.8%	4
家族や知人に電話をかける	97	20.5%	5
パソコン	79	16.7%	6
蕨ケーブルテレビ「ウィンク」のテロップ	48	10.1%	7
隣近所の人に教えてもらう	47	9.9%	8
テレビ埼玉のデータ放送	34	7.2%	9
公共機関に電話をかける	25	5.3%	10
その他	3	0.6%	―
情報は取得しない	1	0.2%	
誤記・無回答	8	1.7%	



災害が発生した場合、どのような方法で情報を取得するかたずねたところ、「テレビ（NHKや民放のニュース番組等）」が82.1％で最も多く、次いで「スマートフォン、携帯電話、タブレット端末」が64.1％と即時性が高い方法で情報を取得していることが伺えます。

＜自転車における交通安全について＞

問8　あなたと、あなたと同居のご家族における自転車の安全利用についてお伺いします。

回答対象者：474人	人数
家族の人数（あなたを含む）	1,389人
うち、自転車を利用する人数	973人
乗車時にヘルメットを着用する人数	38人
自転車保険に加入している人数	317人
TSマーク※付帯保険に加入している人数	301人
個人賠償責任保険の対象となる人数（自動車保険・火災保険の特約）	378人

自転車の安全利用についてたずねたところ、多くの方が自転車を利用されており、ヘルメットの着用割合は4%程度の結果となりました。

問8で「ヘルメットを未着用または保険に未加入」と答えた人のみ回答

問9　ヘルメットを着用しない、または保険に加入しない理由はなんですか。
（○印はいくつでも）

ヘルメットを着用しない理由（回答対象者：401人）	件数	割合	順位
そもそも意識したことがない	230	57.4%	1
重い、蒸れるなど不快 髪型が崩れる	89	22.2%	2
交通ルールを守っているため不要	65	16.2%	3
見た目が悪い	36	9.0%	4
値段が高い	22	5.5%	5
その他	24	6.0%	—
誤記・無回答	73	18.2%	

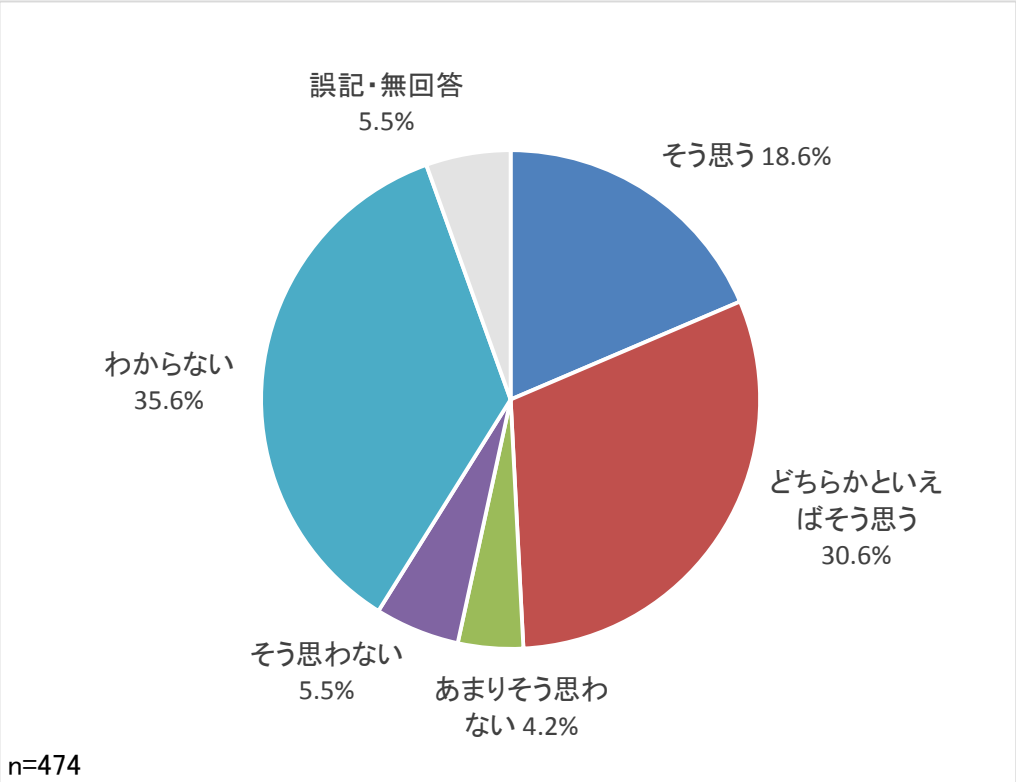
保険に加入しない理由（回答対象者：172人）	件数	割合	順位
そもそも意識したことがない	87	50.6%	1
加入方法が分からない	22	12.8%	2
交通ルールを守っているため不要	18	10.5%	3
手続きが面倒	17	9.9%	4
保険料が高い	16	9.3%	5
その他	16	9.3%	—
誤記・無回答	33	19.2%	

ヘルメットを着用しない理由、保険に加入しない理由をたずねたところ、どちらも「そもそも意識したことがない」という回答が半数以上となる結果となりました。

＜子育てについて＞

問10　蕨市は子育てしやすいまちだと思いますか。（〇印は1つ）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
そう思う	88	18.6%	3
どちらかといえばそう思う	145	30.6%	2
あまりそう思わない	20	4.2%	5
そう思わない	26	5.5%	4
わからない	169	35.6%	1
誤記・無回答	26	5.5%	

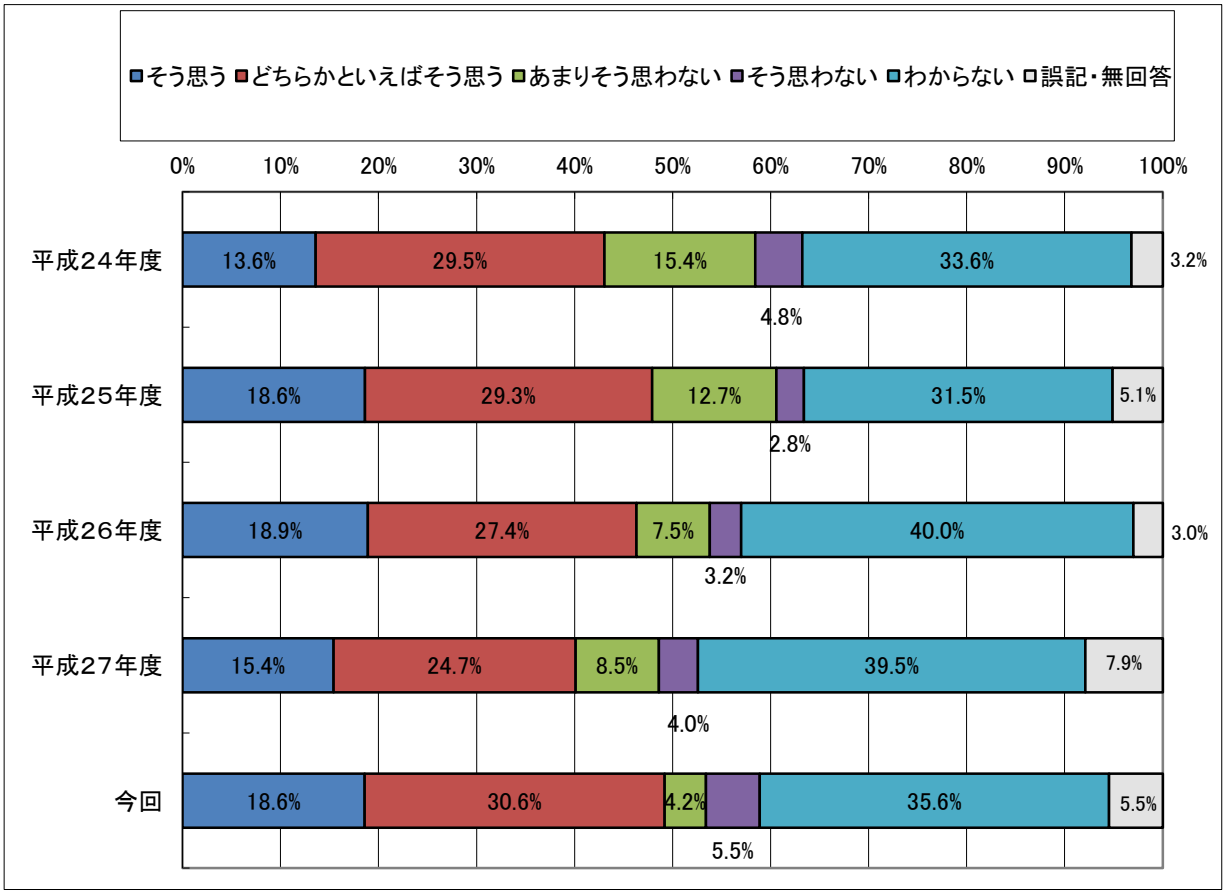


蕨市は子育てしやすいまちだと思うかたずねたところ、「そう思う」18.6%、「どちらかといえばそう思う」30.6%を合わせると49.2%となり、およそ半数が子育てしやすいまちと感じていることが伺えます。
一方、35.6%の人が「わからない」と答えています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、昨年度40.1％であった「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が、今回は49.2％まで増加しています。

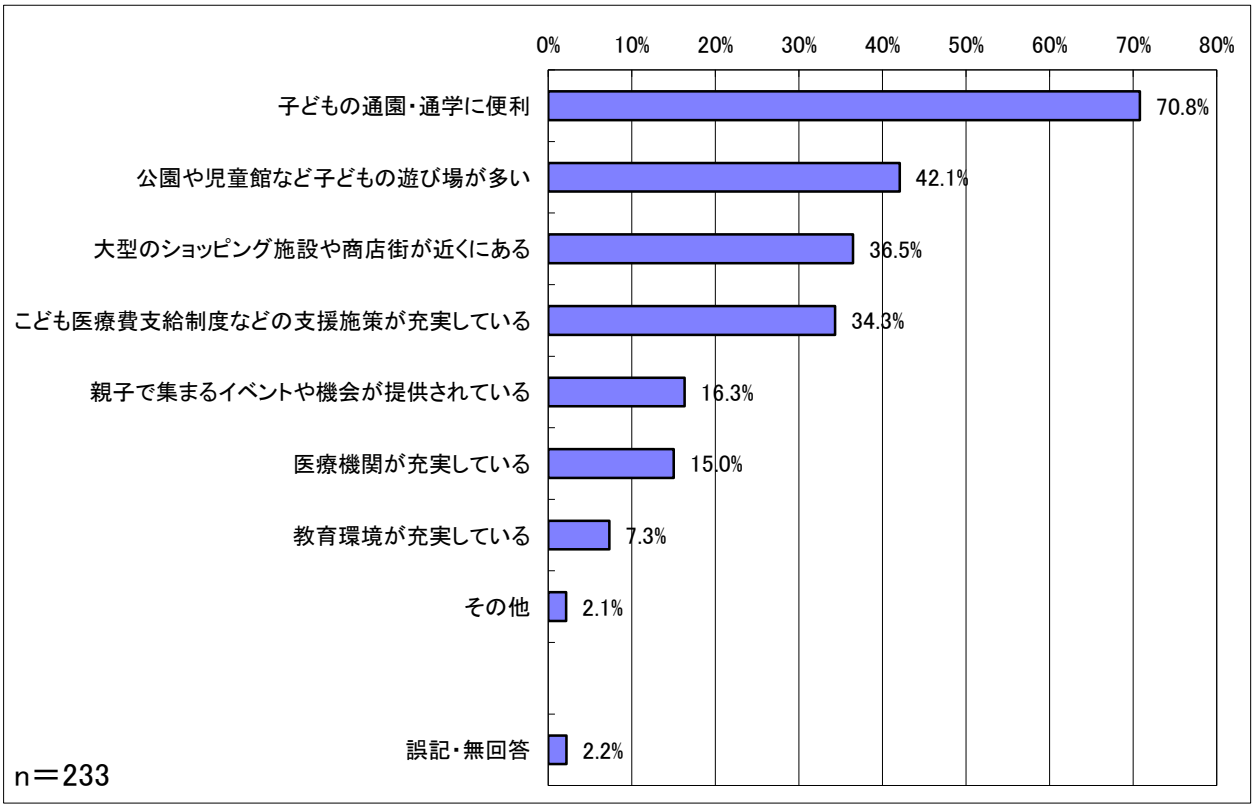
●子育てについて（平成24年度からの推移）



問10で「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」と答えた人のみ回答

問11　子育てがしやすいと思う理由はなんですか。（〇印は3つ以内）

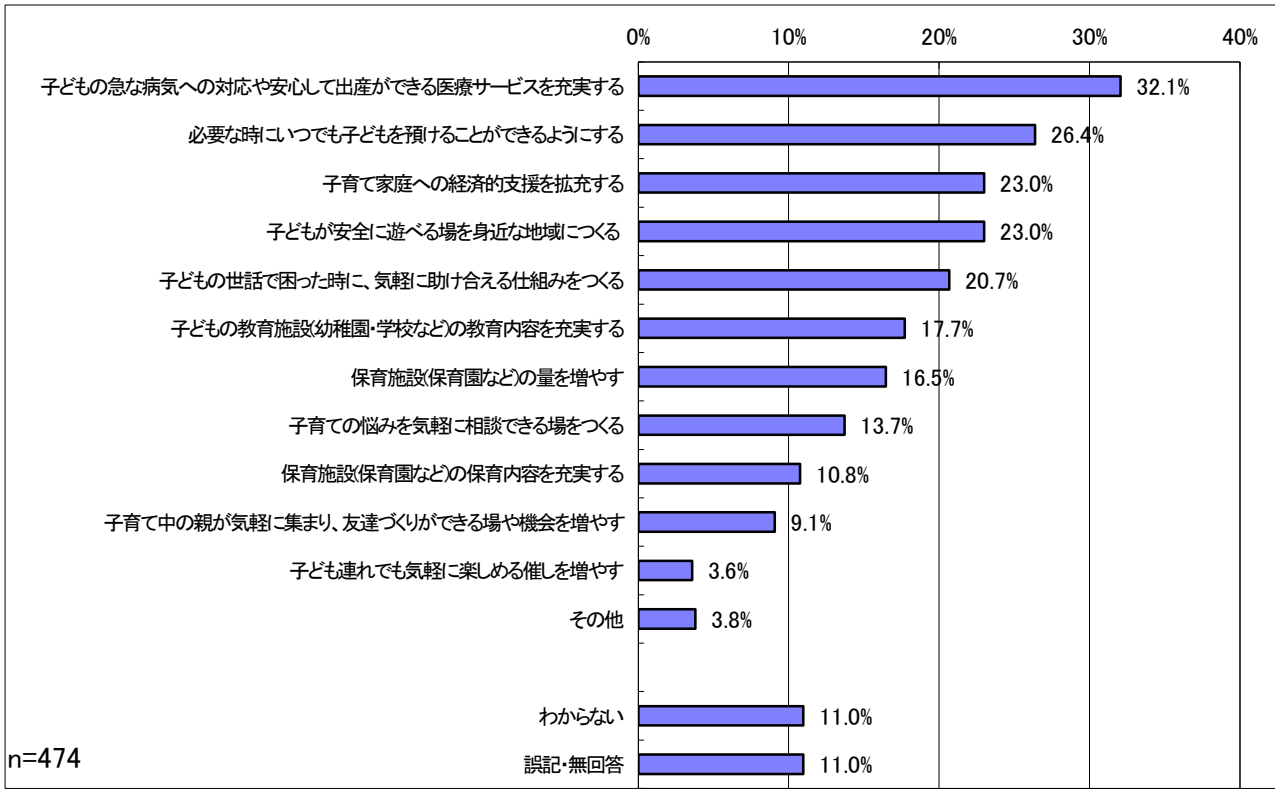
回答対象者：233人	件数	割合	順位
子どもの通園・通学に便利	165	70.8%	1
公園や児童館など子どもの遊び場が多い	98	42.1%	2
大型のショッピング施設や商店街が近くにある	85	36.5%	3
こども医療費支給制度などの支援施策が充実している	80	34.3%	4
親子で集まるイベントや機会が提供されている	38	16.3%	5
医療機関が充実している	35	15.0%	6
教育環境が充実している	17	7.3%	7
その他	5	2.1%	―
誤記・無回答	8	2.2%	



蕨市が子育てしやすいまちだと感じている人に、その理由をたずねたところ、1位は「子どもの通園・通学に便利」が70.8%、以下、「公園や児童館など子どもの遊び場が多い」が42.1%、「大型のショッピング施設や商店街が近くにある」が36.5%、「こども医療費支給制度などの支援施策が充実している」が34.3%と続いています。

問12 蕨市をより子育てしやすいまちにするためには、どのようなことが大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する	152	32.1%	1
必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする	125	26.4%	2
子育て家庭への経済的支援を拡充する	109	23.0%	3
子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる	109	23.0%	3
子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる	98	20.7%	5
子どもの教育施設(幼稚園・学校など)の教育内容を充実する	84	17.7%	6
保育施設(保育園など)の量を増やす	78	16.5%	7
子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる	65	13.7%	8
保育施設(保育園など)の保育内容を充実する	51	10.8%	9
子育て中の親が気軽に集まり、友達づくりができる場や機会を増やす	43	9.1%	10
子ども連れでも気軽に楽しめる催しを増やす	17	3.6%	11
その他	18	3.8%	―
わからない	52	11.0%	
誤記・無回答	52	11.0%	



蕨市をより子育てしやすいまちにするために大切なことをたずねたところ、「子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する」が32.1%と最も多く、次いで、「必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする」が26.4%、「子育て家庭への経済的支援を拡充する」、「子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる」が23.0%と続いています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「子育て家庭への経済的支援を拡充する」の順位が上昇傾向にあります。また、「保育施設（保育園など）の量を増やす」が、今年度は7位となり、上位から外れています。

●子育てしやすいまちにするため大切だと思うこと 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 47.4%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 39.6%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 34.8%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.7%	子育ての悩みを気軽に相談できる場をつくる 25.4%
平成25年度	子どもの急な病気に対応できる医療サービスを充実する 46.2%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 36.6%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 34.6%	幼稚園、保育所、学校など子どもの保育、教育を充実する 34.1%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.0%
平成26年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 38.4%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 29.0%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 28.5%	子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 22.4%	保育施設(保育園など)の量を増やす 22.1%
平成27年度	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 35.9%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 27.8%	子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 27.3%	保育施設(保育園など)の量を増やす 20.2%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 19.6%
今回	子どもの急な病気への対応や安心して出産ができる医療サービスを充実する 32.1%	必要な時にいつでも子どもを預けることができるようにする 26.4%	子育て家庭への経済的支援を拡充する 子どもが安全に遊べる場を身近な地域につくる 23.0%		子どもの世話で困った時に、気軽に助け合える仕組みをつくる 20.7%

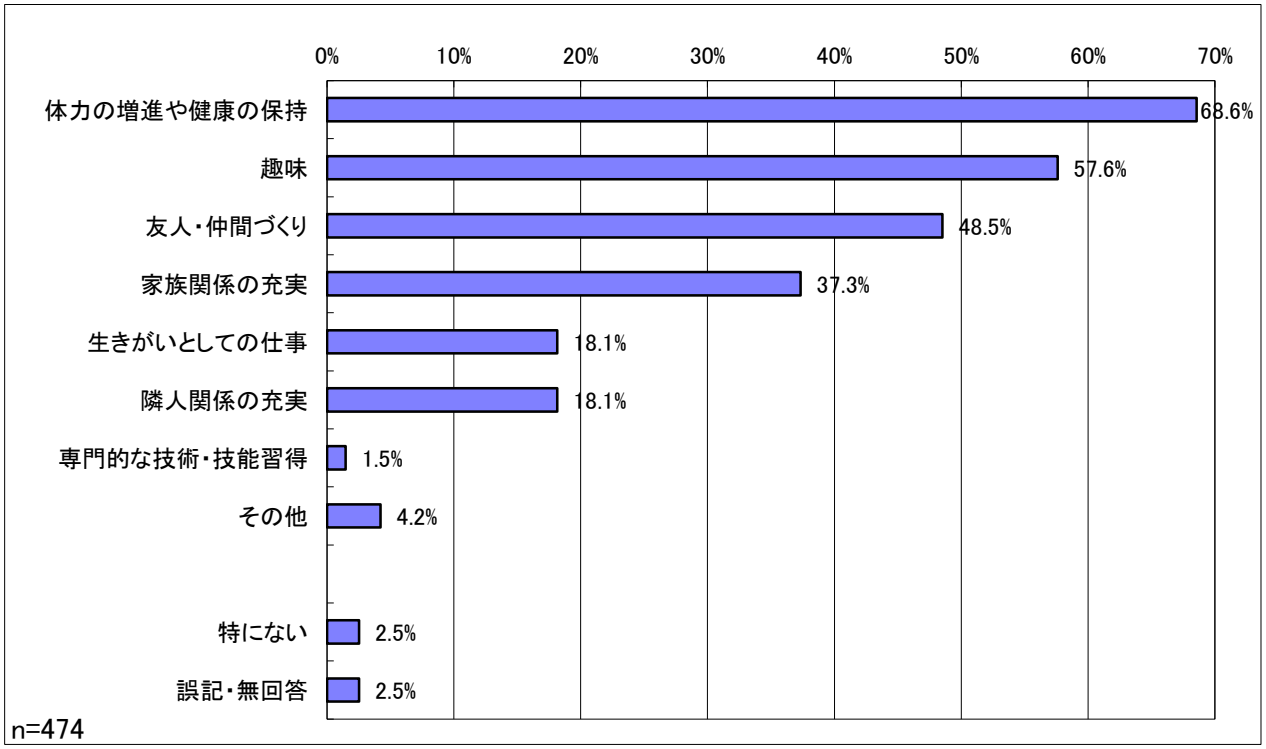
※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。

※平成26年度より回答の選択肢を増やしたため、割合が全体的に下がっています。
（11項目→13項目）

＜高齢期に大切なことについて＞

問13 あなたが高齢期を迎える（迎えた）ときに何が大切だと思いますか。
（○印は3つ以内）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
体力の増進や健康の保持	325	68.6%	1
趣味	273	57.6%	2
友人・仲間づくり	230	48.5%	3
家族関係の充実	177	37.3%	4
生きがいとしての仕事	86	18.1%	5
隣人関係の充実	86	18.1%	5
専門的な技術・技能習得	7	1.5%	7
その他	20	4.2%	―
特にない	12	2.5%	
誤記・無回答	12	2.5%	



高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うことについてたずねたところ、「体力の増進や健康の保持」が68.6%と最も多く、次いで、「趣味」が57.6%、「友人・仲間づくり」が48.5%、「家族関係の充実」が37.3%となっています。

＜経年変化＞

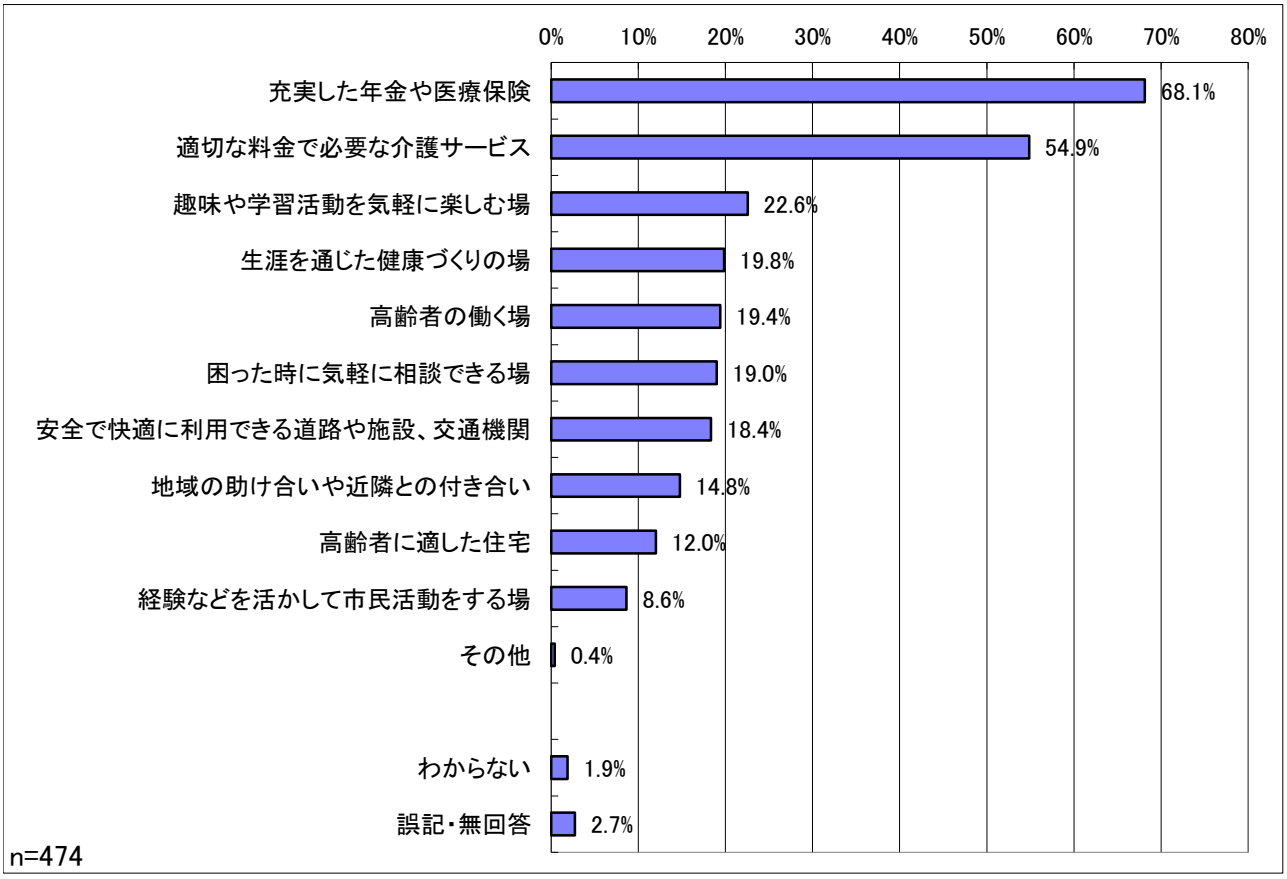
平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、「趣味」の回答割合に上昇傾向が見られます。

●高齢期を迎える（迎えた）ときに大切だと思うこと 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	体力の増進や健康の保持 64.5%	友人・仲間づくり 49.3%	趣味 47.2%	家族関係の充実 35.2%	隣人関係の充実 29.4%
平成25年度	体力の増進や健康の保持 65.4%	趣味 53.2%	友人・仲間づくり 49.0%	家族関係の充実 31.3%	隣人関係の充実 29.3%
平成26年度	体力の増進や健康の保持 69.6%	趣味 54.3%	友人・仲間づくり 47.0%	家族関係の充実 39.3%	生きがいとしての仕事 20.8%
平成27年度	体力の増進や健康の保持 68.1%	趣味 48.0%	友人・仲間づくり 45.4%	家族関係の充実 35.9%	生きがいとしての仕事 22.6%
今回	体力の増進や健康の保持 68.6%	趣味 57.6%	友人・仲間づくり 48.5%	家族関係の充実 37.3%	生きがいとしての仕事／隣人関係の充実 18.1%

問14 高齢期を生き生きと過ごせるまちにするため、どのような環境が大切だと思いますか。（○印は3つ以内）

回答対象者:474人	件数	割合	順位
充実した年金や医療保険	323	68.1%	1
適切な料金で必要な介護サービス	260	54.9%	2
趣味や学習活動を気軽に楽しむ場	107	22.6%	3
生涯を通じた健康づくりの場	94	19.8%	4
高齢者の働く場	92	19.4%	5
困った時に気軽に相談できる場	90	19.0%	6
安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関	87	18.4%	7
地域の助け合いや近隣との付き合い	70	14.8%	8
高齢者に適した住宅	57	12.0%	9
経験などを活かして市民活動をする場	41	8.6%	10
その他	2	0.4%	－
わからない	9	1.9%	
誤記・無回答	13	2.7%	



高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境についてたずねたところ、「充実した年金や医療保険」が68.1%と最も多く、次いで「適切な料金で必要な介護サービス」の54.9%と、高齢期の生活基盤・医療・福祉が充実した環境を必要とする回答が多くなっています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、1位と2位の項目に変動はありませんが、3位以下の項目は毎年入れ替わっています。そのなかで、「生涯を通じた健康づくりの場」に近年上昇傾向が見られます。

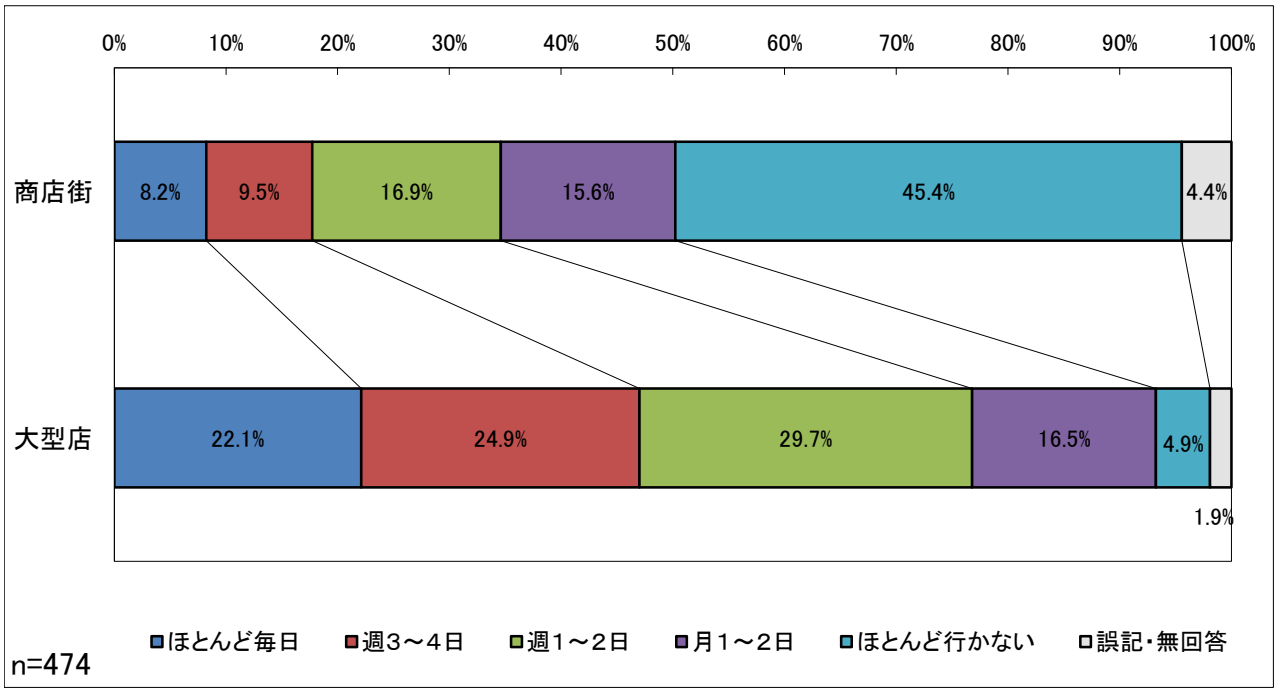
●高齢期を生き生きと過ごせるまちにするために大切な環境 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	充実した年金や医療保険 63.7%	適切な料金で必要な介護サービス 51.7%	高齢者の働く場 23.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 23.8%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 21.9%
平成25年度	充実した年金や医療保険 62.8%	適切な料金で必要な介護サービス 48.2%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 28.2%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 25.6%	困った時に気軽に相談できる場 22.5%
平成26年度	充実した年金や医療保険 68.5%	適切な料金で必要な介護サービス 51.4%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 26.9%	地域の助け合いや近隣との付き合い 21.5%	生涯を通じた健康づくりの場 19.6%
平成27年度	充実した年金や医療保険 66.6%	適切な料金で必要な介護サービス 51.9%	安全で快適に利用できる道路や施設、交通機関 22.0%	困った時に気軽に相談できる場 20.5%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 19.5%
今回	充実した年金や医療保険 68.1%	適切な料金で必要な介護サービス 54.9%	趣味や学習活動を気軽に楽しむ場 22.6%	生涯を通じた健康づくりの場 19.8%	高齢者の働く場 19.4%

＜まちのにぎわいについて＞

問15 買い物についてお伺いします。あなたが商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ行く頻度について、あてはまるものをお選びください。（○印はそれぞれ1つ）

	商店街			大型店		
回答対象者：474人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
ほとんど毎日	39	8.2%	5	105	22.1%	3
週3～4日	45	9.5%	4	118	24.9%	2
週1～2日	80	16.9%	2	141	29.7%	1
月1～2日	74	15.6%	3	78	16.5%	4
ほとんど行かない	215	45.4%	1	23	4.9%	5
誤記・無回答	21	4.4%		9	1.9%	



商店街や大型店（スーパーマーケット、デパート）へ買い物に行く頻度をたずねたところ、「ほとんど毎日」「週3～4日」「週1～2日」の割合の合計は、商店街の34.6%に対し、大型店は76.7%で2倍以上になっています。

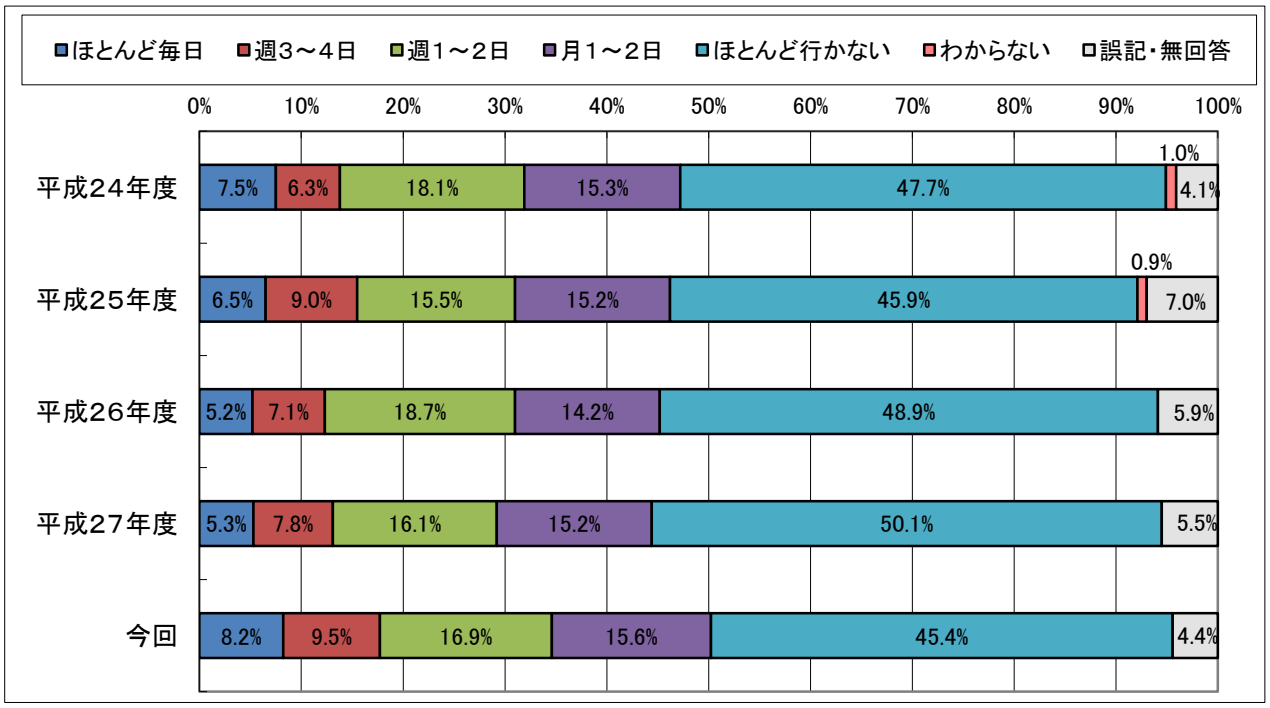
また、「ほとんど行かない」が商店街の45.4%に対し、大型店は4.9%となっています。

＜経年変化＞

【商店街】

平成24年度からの推移を見ると、平成27年度までは減少傾向にあった商店街に買い物に行く頻度が平成28年度は上昇し、月1日以上買い物に行く人の割合が半数以上となっています。

●商店街に買い物に行く頻度（平成24年度からの推移）

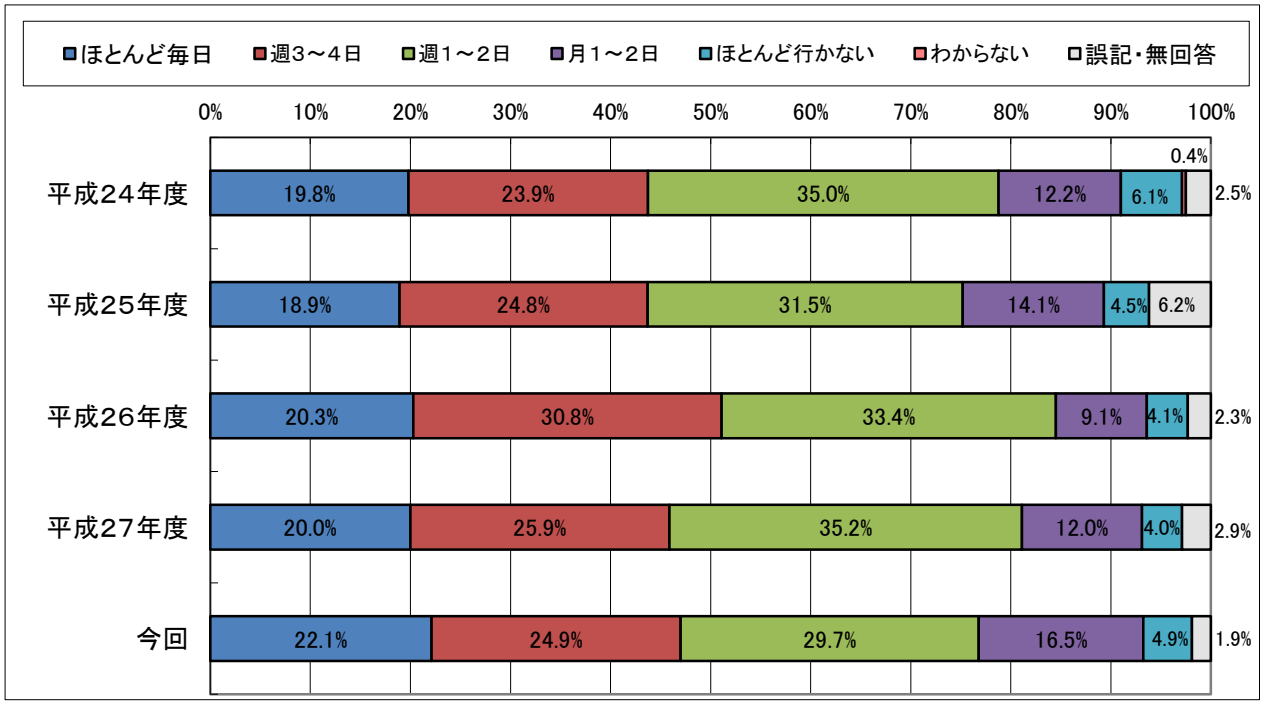


※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

【大型店】

平成24年度からの推移を見ると、大型店に買い物に行く頻度が週1日以上の方がおおむね8割前後となっています。

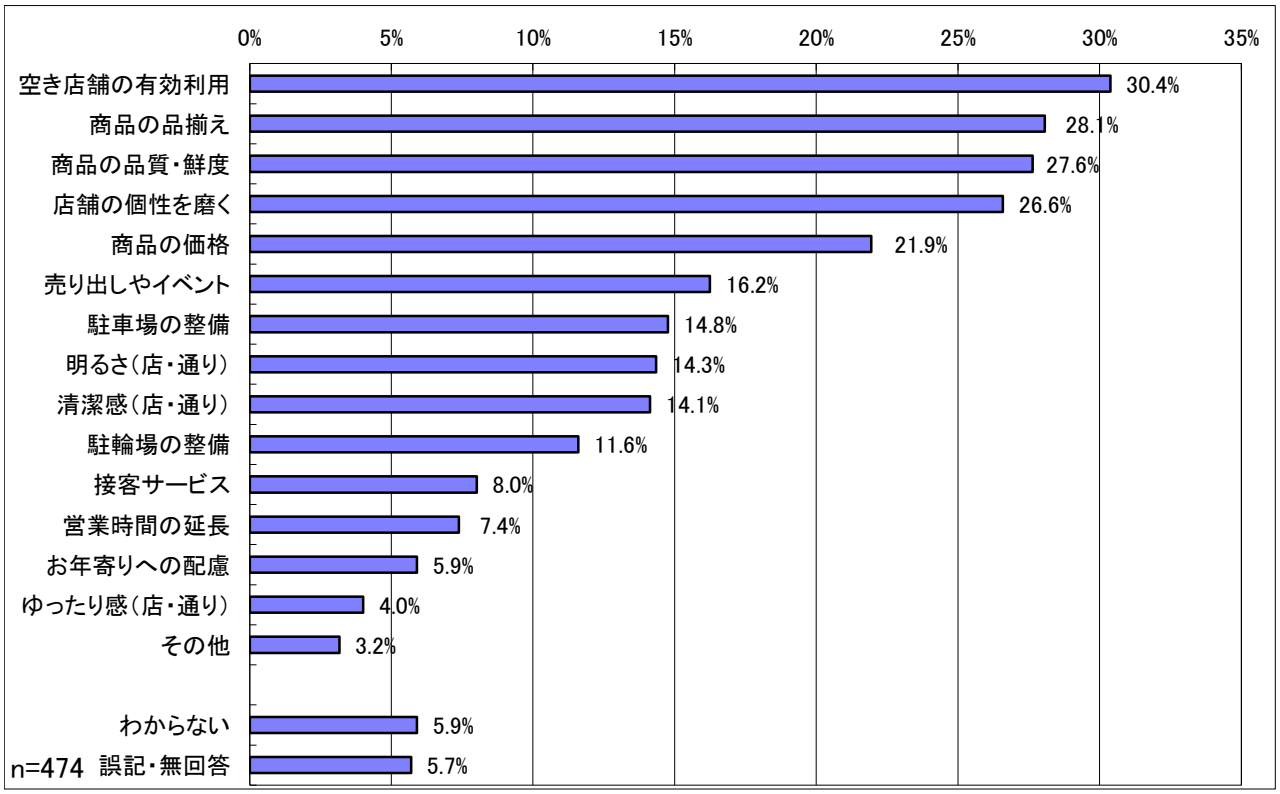
●大型店に買い物に行く頻度（平成24年度からの推移）



※平成26年度から「わからない」という選択肢を削除しました。

問16 商店街の活性化についてお伺いします。あなたが商店街に望むことについて、あてはまるものをお選びください。（○印は3つ以内）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
空き店舗の有効利用	144	30.4%	1
商品の品揃え	133	28.1%	2
商品の品質・鮮度	131	27.6%	3
店舗の個性を磨く	126	26.6%	4
商品の価格	104	21.9%	5
売り出しやイベント	77	16.2%	6
駐車場の整備	70	14.8%	7
明るさ（店・通り）	68	14.3%	8
清潔感（店・通り）	67	14.1%	9
駐輪場の整備	55	11.6%	10
接客サービス	38	8.0%	11
営業時間の延長	35	7.4%	12
お年寄りへの配慮	28	5.9%	13
ゆったり感（店・通り）	19	4.0%	14
その他	15	3.2%	―
わからない	28	5.9%	
誤記・無回答	27	5.7%	



商店街に望むことについてたずねたところ、「空き店舗の有効利用」が30.4%と最も多く、次いで「商品の品揃え」が28.1%、「商品の品質・鮮度」が27.6%、「店舗の個性を磨く」が26.6%となっています。

＜経年変化＞

平成23年度からの推移を見ると、これまでは3位から5位に位置していた「空き店舗の有効利用」が1位となり、回答の割合も上昇しています。2位以下の項目の構成に大きな変化はありません。

●商店街に望むこと 上位5位（平成23年度からの推移）

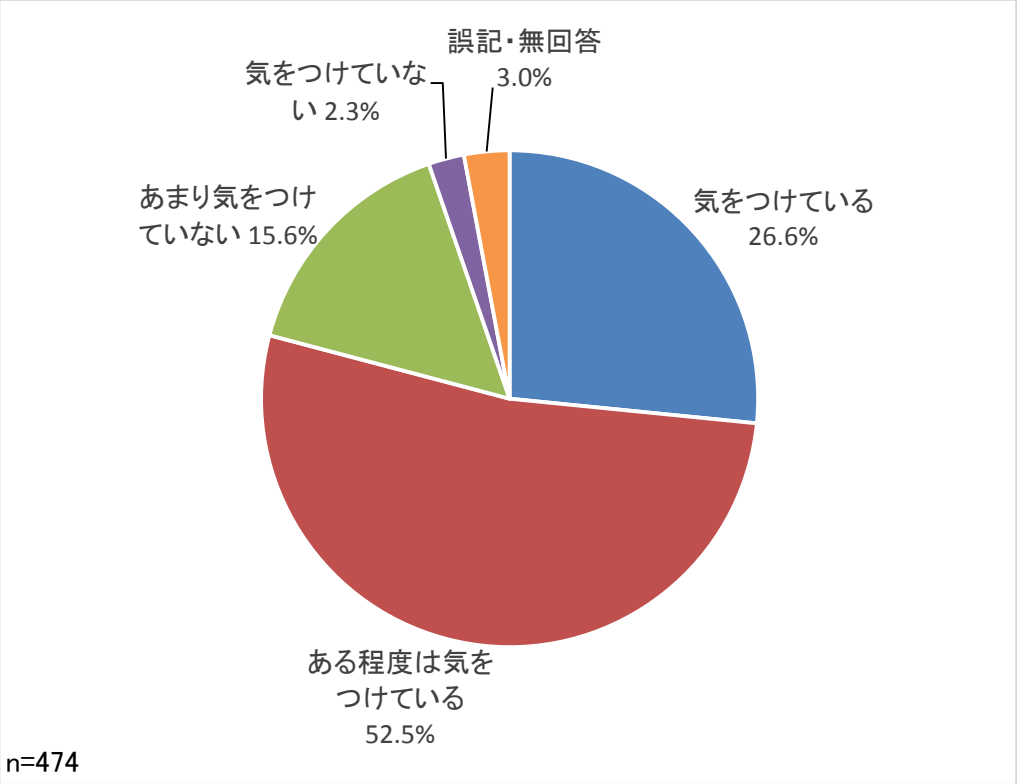
	1位	2位	3位	4位	5位
平成23年度	商品の品揃え 36.7%	商品の価格 31.5%	商品の品質・鮮度 31.3%	店舗の個性を磨く 23.2%	空き店舗の有効利用 21.1%
平成25年度	商品の品質・鮮度 29.9%	商品の品揃え 28.5%	商品の価格 24.5%	空き店舗の有効利用 22.8%	店舗の個性を磨く 21.1%
平成26年度	商品の品質・鮮度 30.1%	商品の品揃え 27.6%	空き店舗の有効利用 26.9%	店舗の個性を磨く 23.5%	商品の価格 21.9%
平成27年度	商品の品揃え 31.5%	商品の価格 25.3%	商品の品質・鮮度 25.1%	空き店舗の有効利用 23.6%	店舗の個性を磨く 22.4%
今回	空き店舗の有効利用 30.4%	商品の品揃え 28.1%	商品の品質・鮮度 27.6%	店舗の個性を磨く 26.6%	商品の価格 21.9%

※平成24年度は本項目の調査を行っていません。

＜健康づくり、運動・スポーツについて＞

問17　あなたは、日頃、自分の健康に気をつけていますか。（○印は1つ）

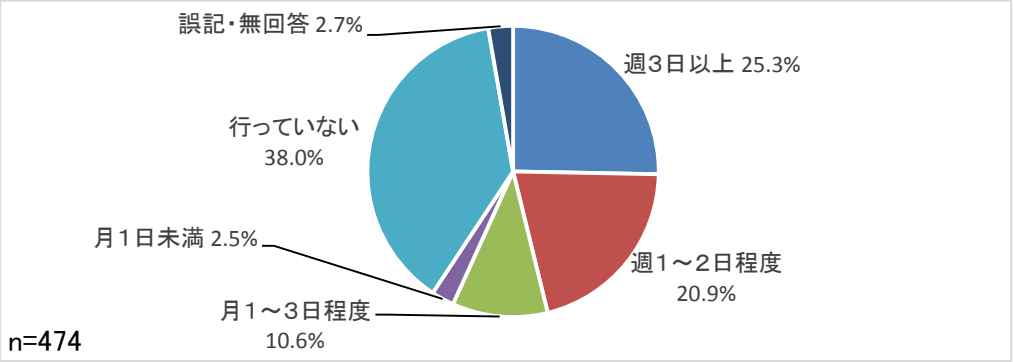
回答対象者：474人	件数	割合	順位
気をつけている	126	26.6%	2
ある程度は気をつけている	249	52.5%	1
あまり気をつけていない	74	15.6%	3
気をつけていない	11	2.3%	4
誤記・無回答	14	3.0%	



自分の健康にどのくらい気をつけているかたずねたところ、「気をつけている」、「ある程度は気をつけている」を合わせると、79.1％の人が日頃から自分の健康に気をつけているという結果になっています。

問18　健康づくりなどに運動・スポーツは非常に大切であるといわれています。あなたは、どのくらいの頻度で運動・スポーツをしていますか。（○印は1つ）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
週3日以上	120	25.3%	2
週1～2日程度	99	20.9%	3
月1～3日程度	50	10.6%	4
月1日未満	12	2.5%	5
行っていない	180	38.0%	1
誤記・無回答	13	2.7%	

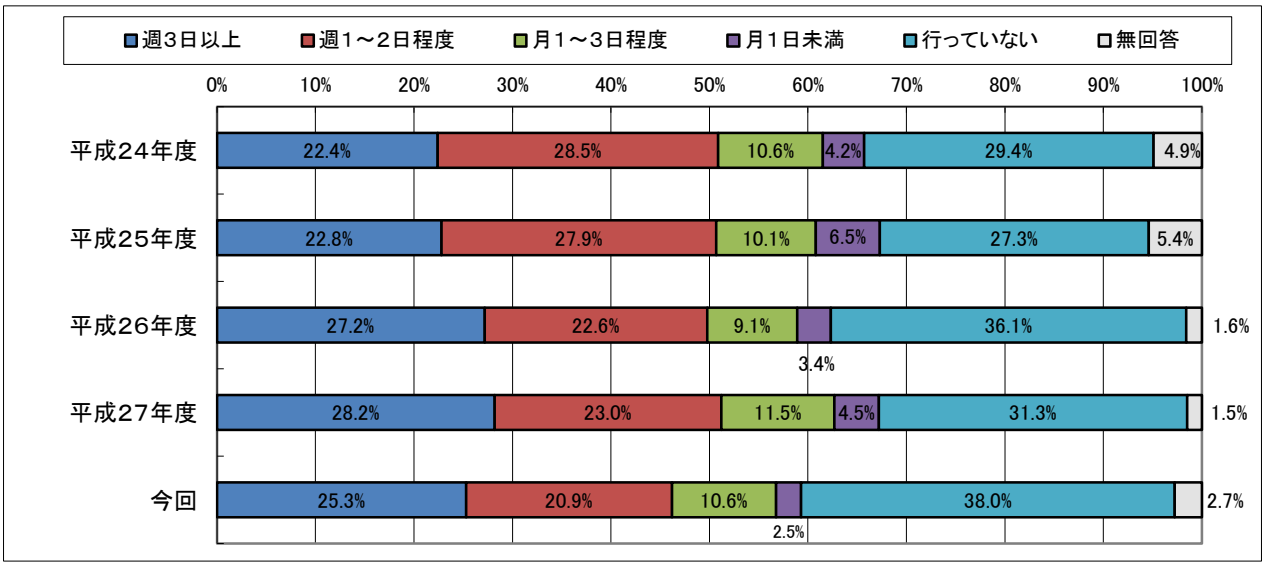


どのくらいの頻度で運動・スポーツをしているかたずねたところ、「週3日以上」が25.3%で最も多く、次いで「週1～2日程度」が20.9%、「月1～3日程度」が10.6%と続いており、およそ半数近くの人が、週1日以上何らかの運動・スポーツをしているという結果になっています。

＜経年変化＞

運動・スポーツをしている頻度について平成24年度からの経年変化を見ると、週1日以上スポーツをしている人の割合は50%前後で推移しています。今年度は直近5年間の中ではスポーツをしている人の割合が低くなっています

●運動・スポーツをしている頻度（平成24年度からの推移）



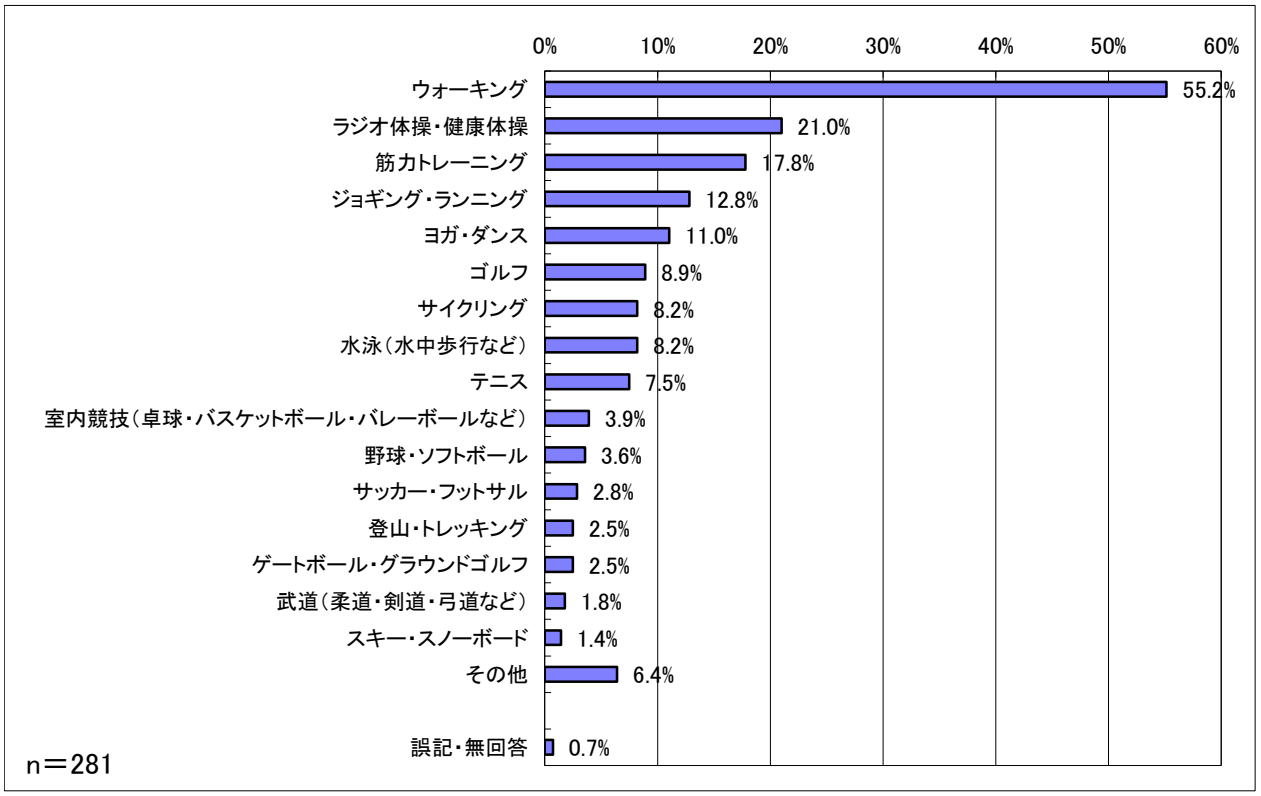
※平成26年度より回答の選択肢を変更したため、平成25年度以前の割合を現在の選択肢に合わせて再集計しました。

～平成25年度	週3回以上	週2回程度	週1回程度	月2回程度	月1回程度	2～3か月に1回程度	年2回程度	年1回程度
平成26年度～	週3日以上	週1～2日程度		月1～3日程度		月1日未満		

問18で「週3日以上」「週1～2日程度」「月1～3日程度」「月1日未満」と答えた人のみ回答

問19　あなたは、主にどのような運動・スポーツをしていますか。（○印は3つ以内）

回答対象者：281人	件数	割合	順位
ウォーキング	155	55.2%	1
ラジオ体操・健康体操	59	21.0%	2
筋力トレーニング	50	17.8%	3
ジョギング・ランニング	36	12.8%	4
ヨガ・ダンス	31	11.0%	5
ゴルフ	25	8.9%	6
サイクリング	23	8.2%	7
水泳（水中歩行など）	23	8.2%	7
テニス	21	7.5%	9
室内競技（卓球・バスケットボール・バレーボールなど）	11	3.9%	10
野球・ソフトボール	10	3.6%	11
サッカー・フットサル	8	2.8%	12
登山・トレッキング	7	2.5%	13
ゲートボール・グラウンドゴルフ	7	2.5%	13
武道（柔道・剣道・弓道など）	5	1.8%	15
スキー・スノーボード	4	1.4%	16
その他	18	6.4%	―
誤記・無回答	2	0.7%	



最も行われている運動・スポーツは「ウォーキング」で55.2%、次いで「ラジオ体操・健康体操」が21.0%、「筋力トレーニング」が17.8%となっています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はありませんが、設問を変更した平成26年度から「ウォーキング」の割合が5割を超えています。

●どのような運動・スポーツをしているか 上位5位（平成24年度からの推移）

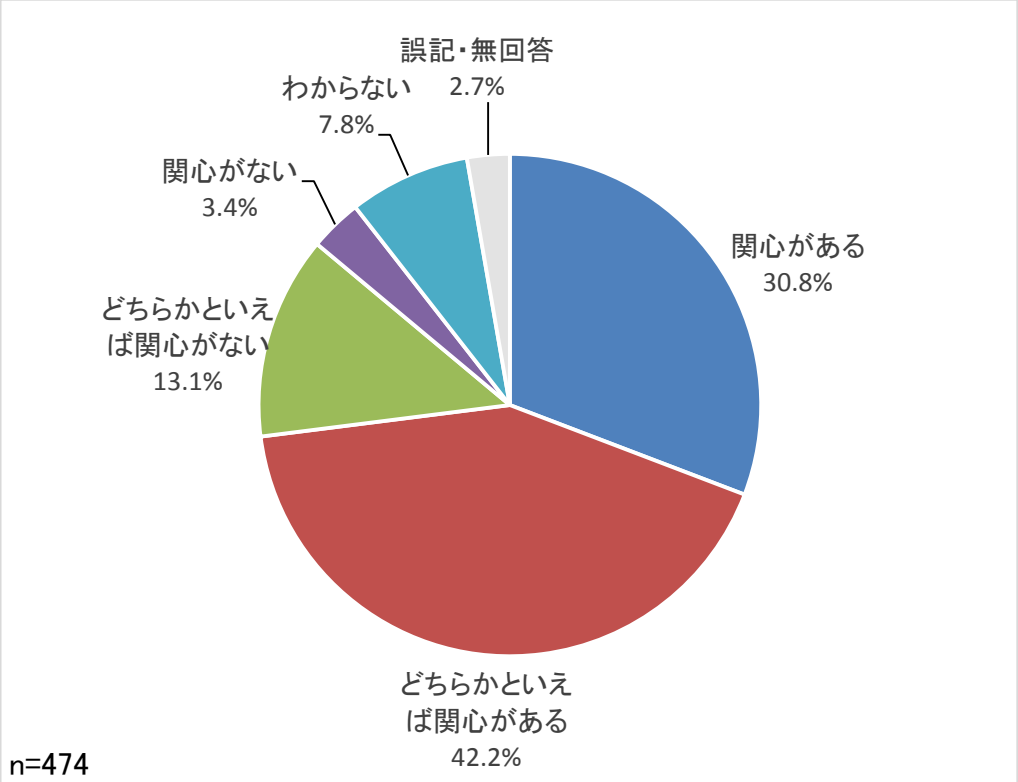
	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	ウォーキング 49.3%	体操（軽体操・エアロビなど） 21.3%	筋力トレーニング 12.7%	ゴルフ 12.3%	ジョギング・ランニング 12.0%
平成25年度	ウォーキング 45.7%	体操（軽体操・エアロビなど） 18.8%	ジョギング・ランニング 15.1%	筋力トレーニング 14.7%	サイクリング 12.2%
平成26年度	ウォーキング 57.1%	ラジオ体操・健康体操 23.8%	筋力トレーニング 17.9%	ジョギング・ランニング 15.4%	ヨガ・ダンス 9.9%
平成27年度	ウォーキング 53.4%	ラジオ体操・健康体操 25.4%	筋力トレーニング 18.6%	ジョギング・ランニング 14.7%	ヨガ・ダンス 10.0%
今回	ウォーキング 55.2%	ラジオ体操・健康体操 21.0%	筋力トレーニング 17.8%	ジョギング・ランニング 12.8%	ヨガ・ダンス 11.0%

※回答項目の修正をしている箇所があるため同じ選択項目になっていません。
※平成25年度までは、運動・スポーツをしていない人を含めた回答者全体を分母としていましたが、平成26年度より、設問の対象を運動・スポーツをしている人のみに変更したため、平成25年度以前の割合を運動・スポーツをしていると回答した人だけを分母とする割合に再計算しました。

＜ごみの減量化について＞

問20　ごみの減量化やリサイクルについて関心がありますか。（○印は1つ）

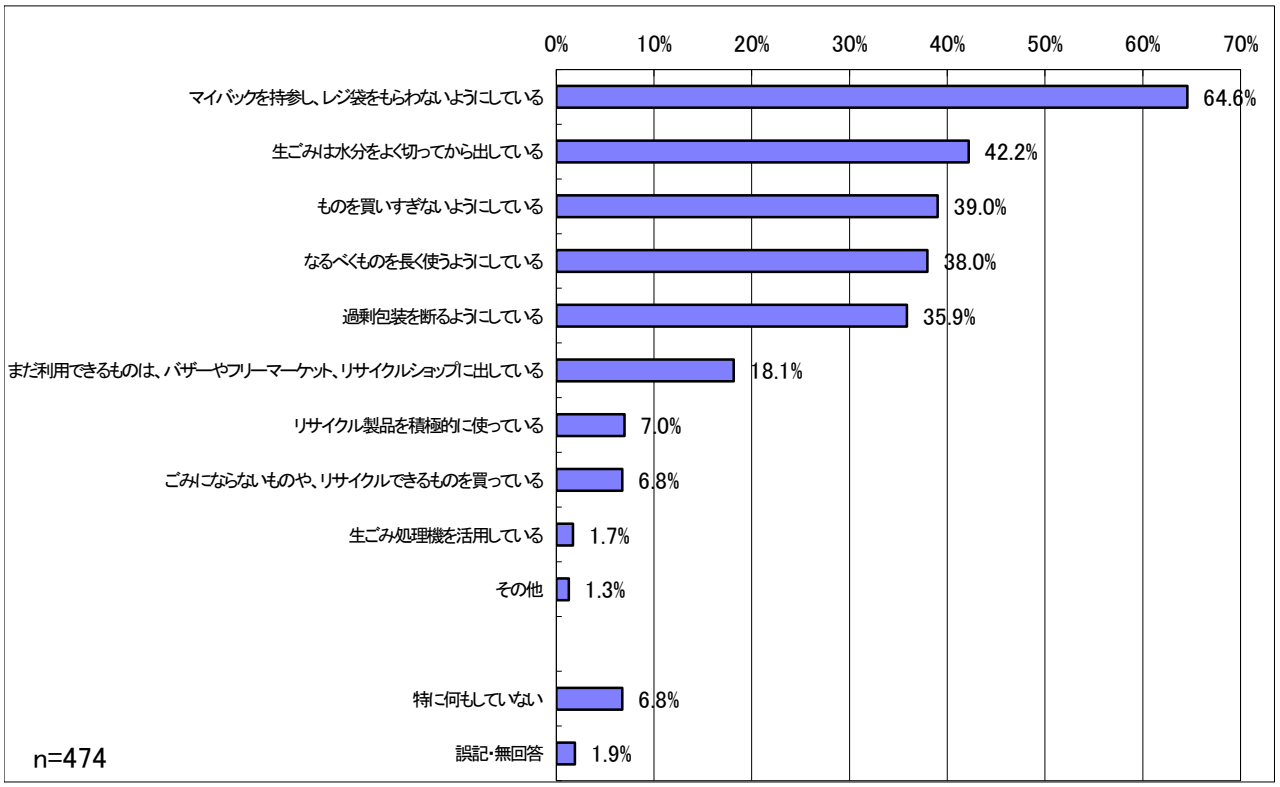
回答対象者：474人	件数	割合	順位
関心がある	146	30.8%	2
どちらかといえば関心がある	200	42.2%	1
どちらかといえば関心がない	62	13.1%	3
関心がない	16	3.4%	5
わからない	37	7.8%	4
誤記・無回答	13	2.7%	



ごみの減量やリサイクルについて関心があるかたずねたところ、「関心がある」30.8%、「どちらかといえば関心がある」42.2%を合わせると73.0%となり、およそ4人に3人がごみの減量化やリサイクルについて関心があると回答しています。

問21　ごみを減らすために、どのような取り組みをしていますか。（○印はいくつでも）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている	306	64.6%	1
生ごみは水分をよく切ってから出している	200	42.2%	2
ものを買いすぎないようにしている	185	39.0%	3
なるべくものを長く使うようにしている	180	38.0%	4
過剰包装を断るようにしている	170	35.9%	5
まだ利用できるものは、バザーやフリーマーケット、リサイクルショップに出している	86	18.1%	6
リサイクル製品を積極的に使っている	33	7.0%	7
ごみにならないものや、リサイクルできるものを買っている	32	6.8%	8
生ごみ処理機を活用している	8	1.7%	9
その他	6	1.3%	－
特に何もしていない	32	6.8%	－
誤記・無回答	9	1.9%	



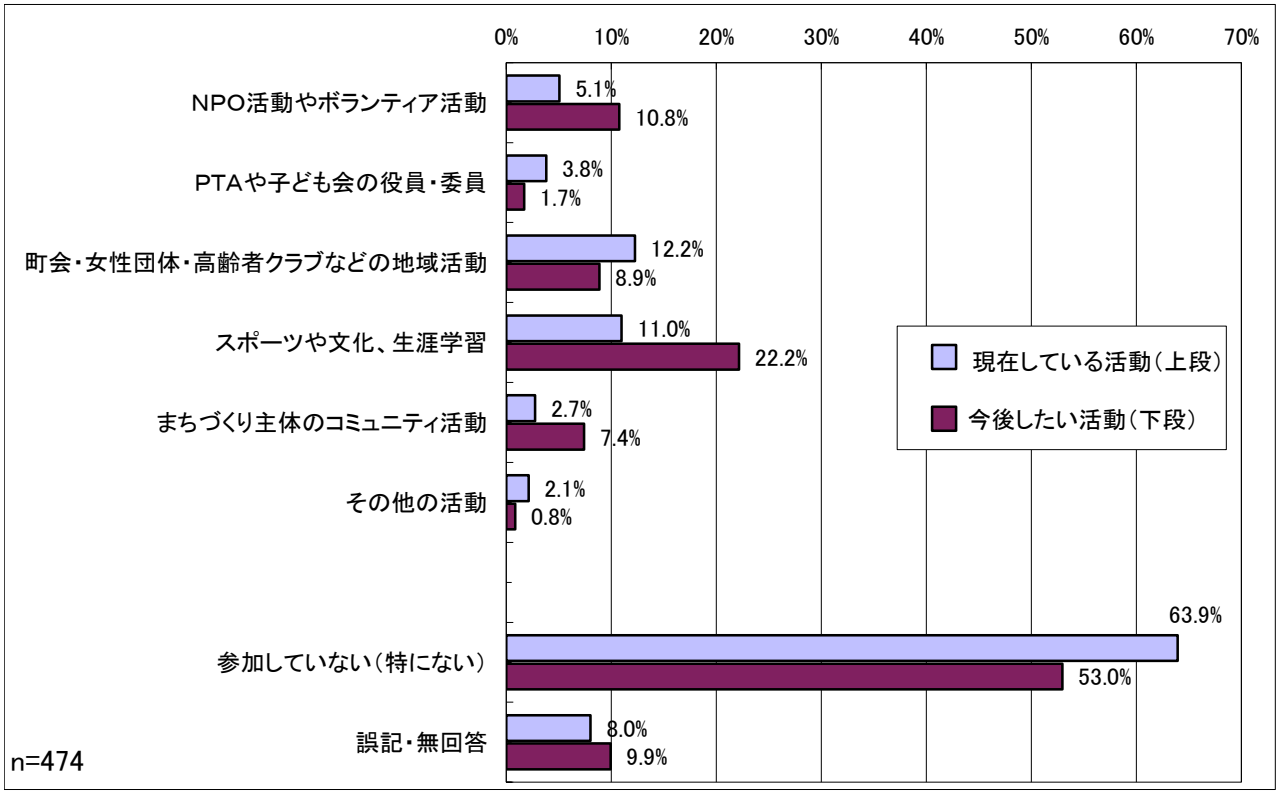
ごみを減らすためどのような取り組みをしているかたずねたところ、「マイバックを持参し、レジ袋をもらわないようにしている」が最も多く64.6%、次いで「生ごみは水分をよく切ってから出している」が42.2%、「なるべくものを長く使うようにしている」が39.0%となっています。

また、およそ9割の人が、ごみを減らすための何らかの取り組みを行っていると回答しています。

＜市民活動について＞

問22	あなたは現在、お住まいの地域等で何か活動をしていますか。また、今後したいと思う活動は何ですか。それぞれあてはまるものをお選びください。 （○印はそれぞれいくつでも）

	現在している活動			今後したい活動		
回答対象者：474人	件数	割合	順位	件数	割合	順位
NPO活動やボランティア活動	24	5.1%	3	51	10.8%	2
PTAや子ども会の役員・委員	18	3.8%	4	8	1.7%	5
町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動	58	12.2%	1	42	8.9%	3
スポーツや文化、生涯学習	52	11.0%	2	105	22.2%	1
まちづくり主体のコミュニティ活動	13	2.7%	5	35	7.4%	4
その他の活動	10	2.1%	―	4	0.8%	―
参加していない（特にない）	303	63.9%		251	53.0%	
誤記・無回答	38	8.0%		47	9.9%	



現在している市民活動と今後したい市民活動についてたずねたところ、活動に参加している人の中では、「町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動」が12.2%で最も多く、次いで「スポーツや文化、生涯学習」の11.0%となっています。

一方、今後したい活動としては、「スポーツや文化、生涯学習」の22.2%が最も多く、次いで、「NPO活動やボランティア活動」の10.8%となっています。

＜経年変化＞

【現在の状況】

平成24年度からの推移を見ると、順位に変動はありません。ただし、「参加していない」の割合をみると、全体的に市民活動に参加している人は増加していることが伺えます。

●現在している市民活動 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位	参加していない
平成24年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 15.0%	スポーツや文化、学習活動 10.2%	NPO活動やボランティア活動 5.2%	PTAの役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.3%	67.7%
平成25年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 13.2%	スポーツや文化、学習活動 10.1%	NPO活動やボランティア活動 5.6%	PTAの役員・委員 3.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.8%	64.5%
平成26年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 10.0%	スポーツや文化、学習活動 8.2%	NPO活動やボランティア活動 5.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.7%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.1%	70.3%
平成27年度	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.6%	スポーツや文化、生涯学習 8.9%	NPO活動やボランティア活動 6.5%	PTAや子ども会の役員・委員 4.1%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.6%	65.8%
今回	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 12.2%	スポーツや文化、生涯学習 11.0%	NPO活動やボランティア活動 5.1%	PTAや子ども会の役員・委員 3.8%	まちづくり主体のコミュニティ活動 2.7%	63.9%

※「その他」・「無回答」は除く

※平成26年度より一部選択肢の表現を見直し

【今後の意向】

平成24年度からの推移を見ると、2位～4位の順位に変動はありますが、各項目の割合は概ね同様の傾向が続いています。

●今後したいと思う市民活動 上位5位（平成24年度からの推移）

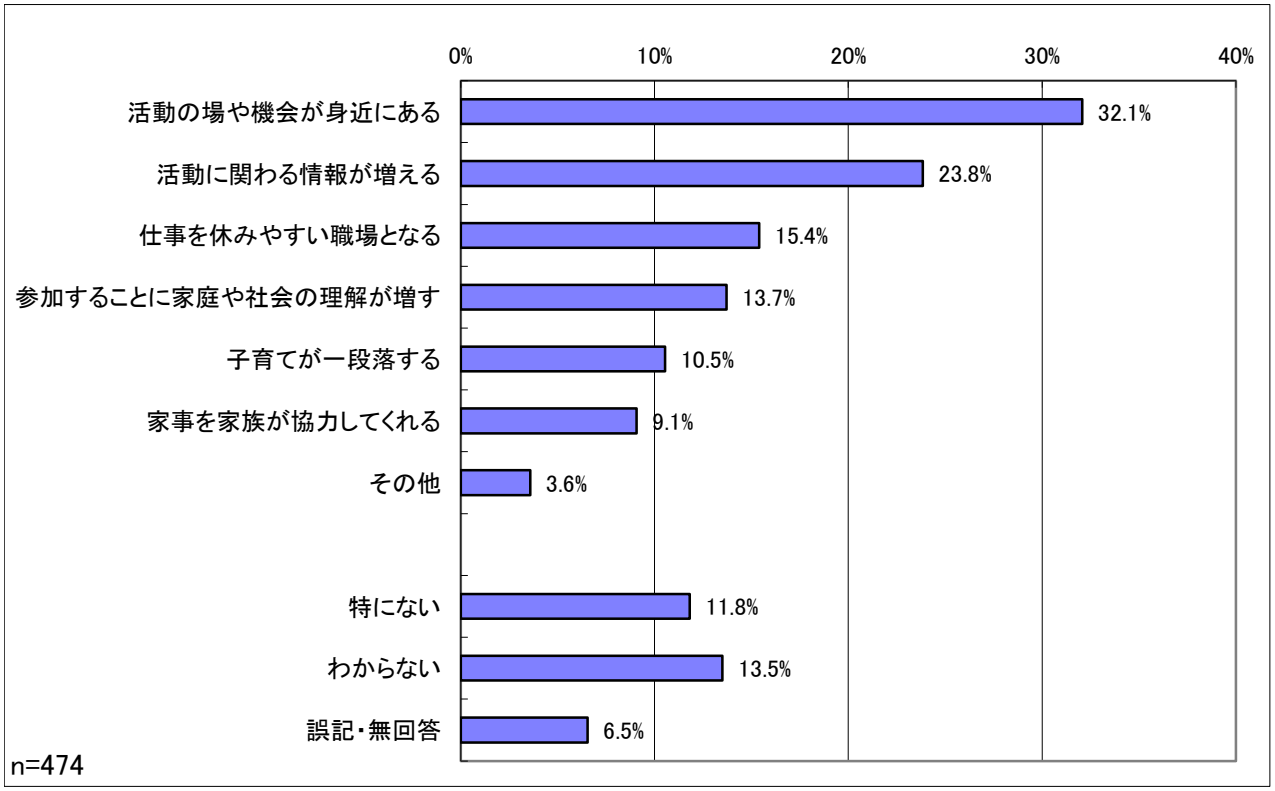
	1位	2位	3位	4位	5位	特にない
平成24年度	スポーツや文化、学習活動 22.5%	NPO活動やボランティア活動 10.1%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 9.6%	まちづくり主体のコミュニティ活動 6.7%	PTAの役員・委員 1.3%	53.8%
平成25年度	スポーツや文化、学習活動 18.3%	NPO活動やボランティア活動 10.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動／まちづくり主体のコミュニティ活動 8.5%		PTAの役員・委員 1.7%	52.1%
平成26年度	スポーツや文化、生涯学習 20.3%	NPO活動やボランティア活動 12.3%	まちづくり主体のコミュニティ活動 9.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.0%	PTAや子ども会の役員・委員 2.1%	52.3%
平成27年度	スポーツや文化、生涯学習 20.4%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 7.4%	NPO活動やボランティア活動 6.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 5.9%	PTAや子ども会の役員・委員 1.8%	53.4%
今回	スポーツや文化、生涯学習 22.2%	NPO活動やボランティア活動 10.8%	町会・女性団体・高齢者クラブなどの地域活動 8.9%	まちづくり主体のコミュニティ活動 7.4%	PTAや子ども会の役員・委員 1.7%	53.0%

※「その他」・「無回答」は除く

※平成26年度より一部選択肢の表現を見直し

問23 上記のような活動に参加しやすくするためには、どのような環境が必要だと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
活動の場や機会が身近にある	152	32.1%	1
活動に関わる情報が増える	113	23.8%	2
仕事を休みやすい職場となる	73	15.4%	3
参加することに家庭や社会の理解が増す	65	13.7%	4
子育てが一段落する	50	10.5%	5
家事を家族が協力してくれる	43	9.1%	6
その他	17	3.6%	―
特にない	56	11.8%	
わからない	64	13.5%	
誤記・無回答	31	6.5%	



市民活動に参加しやすい環境についてたずねたところ、最も多かったのが「活動の場や機会が身近にある」の32.1%、次いで「活動に関わる情報が増える」の23.8%、「仕事を休みやすい職場となる」の15.4%となっています。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、上位の項目の構成に大きな変化はなく、1位の「活動の場や機会が身近にある」が30％を超えています。

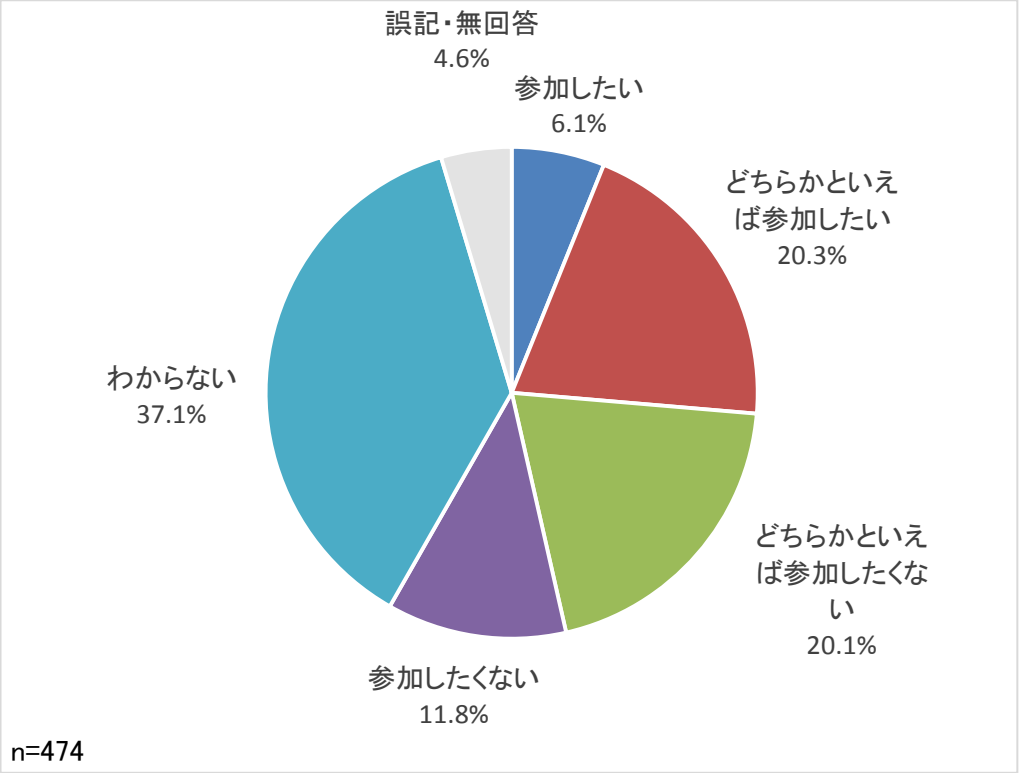
●市民活動に参加しやすくなる環境 上位5位（平成24年度からの推移）

	1位	2位	3位	4位	5位
平成24年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 24.2%	休みを取りやすい職場となる 15.3%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.2%	子育てが一段落する 11.5%
平成25年度	活動の場や機会が身近にある 31.5%	活動に関わる情報が増える 27.6%	仕事を休みやすい職場となる 14.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.2%	子育てが一段落する 11.3%
平成26年度	活動の場や機会が身近にある 38.8%	活動に関わる情報が増える 25.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 15.5%	仕事を休みやすい職場となる 11.0%	子育てが一段落する 10.5%
平成27年度	活動の場や機会が身近にある 32.6%	活動に関わる情報が増える 23.8%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.1%	仕事を休みやすい職場となる 子育てが一段落する 12.2%	
今回	活動の場や機会が身近にある 32.1%	活動に関わる情報が増える 23.8%	仕事を休みやすい職場となる 15.4%	参加することに家庭や社会の理解が増す 13.7%	子育てが一段落する 10.5%

＜市民参加について＞

問24　あなたは、市政の計画づくりやまちづくりに参加したいと思いますか。（○印は1つ）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
参加したい	29	6.1%	5
どちらかといえば参加したい	96	20.3%	2
どちらかといえば参加したくない	95	20.1%	3
参加したくない	56	11.8%	4
わからない	176	37.1%	1
誤記・無回答	22	4.6%	

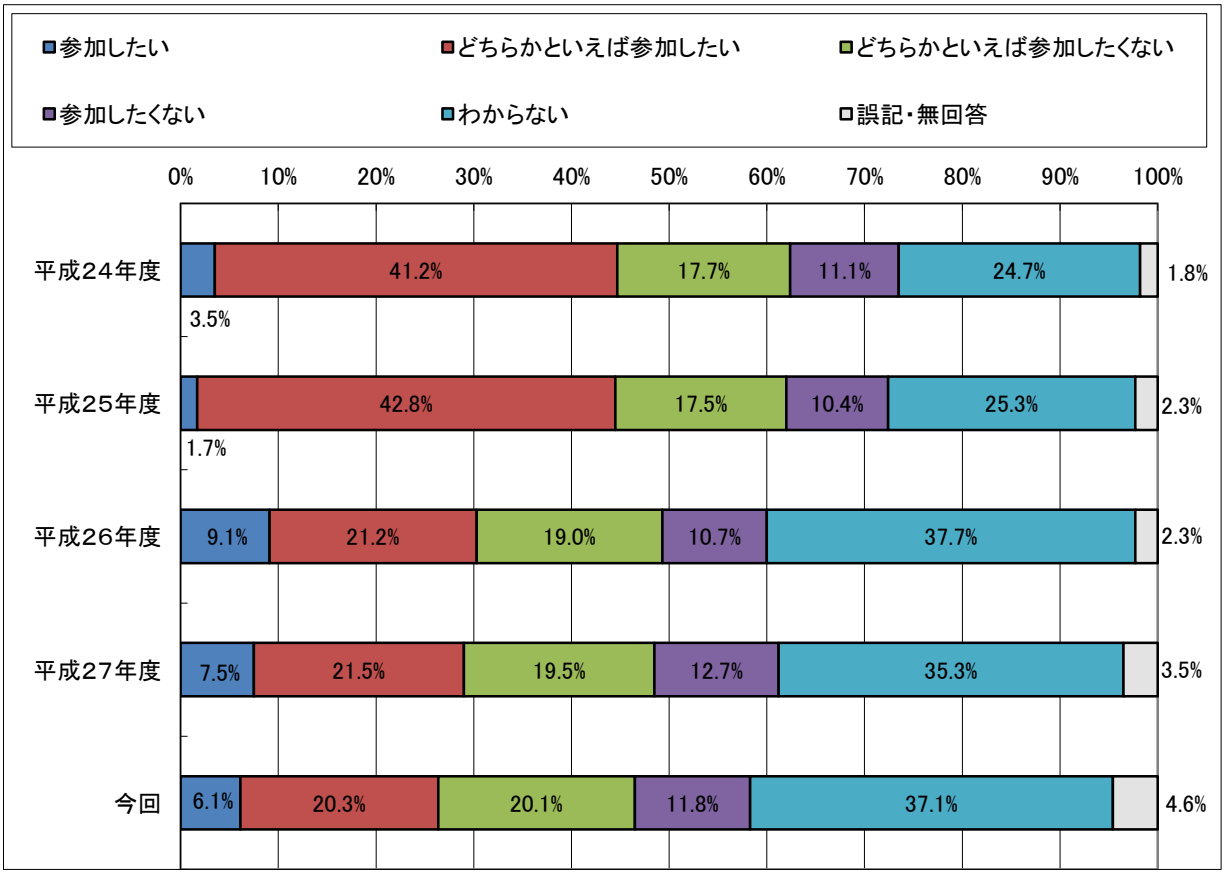


市政の計画づくりやまちづくりへの市民参加については、「参加したい」が6.1%、「どちらかといえば参加したい」が20.3%となっており、これらを合わせた26.4%の人が参加を望んでいることがわかります。このことから、市民参加の機会を拡充するなど行政の積極的な働きかけにより、市民参加が今以上に進む可能性が伺えます。

＜経年変化＞

平成24年度からの推移を見ると、「参加したい」と「どちらかといえば参加したい」を合わせた市民活動に参加意向を持つ人の割合が減少傾向にある一方で、「わからない」の回答が増加傾向にあります。

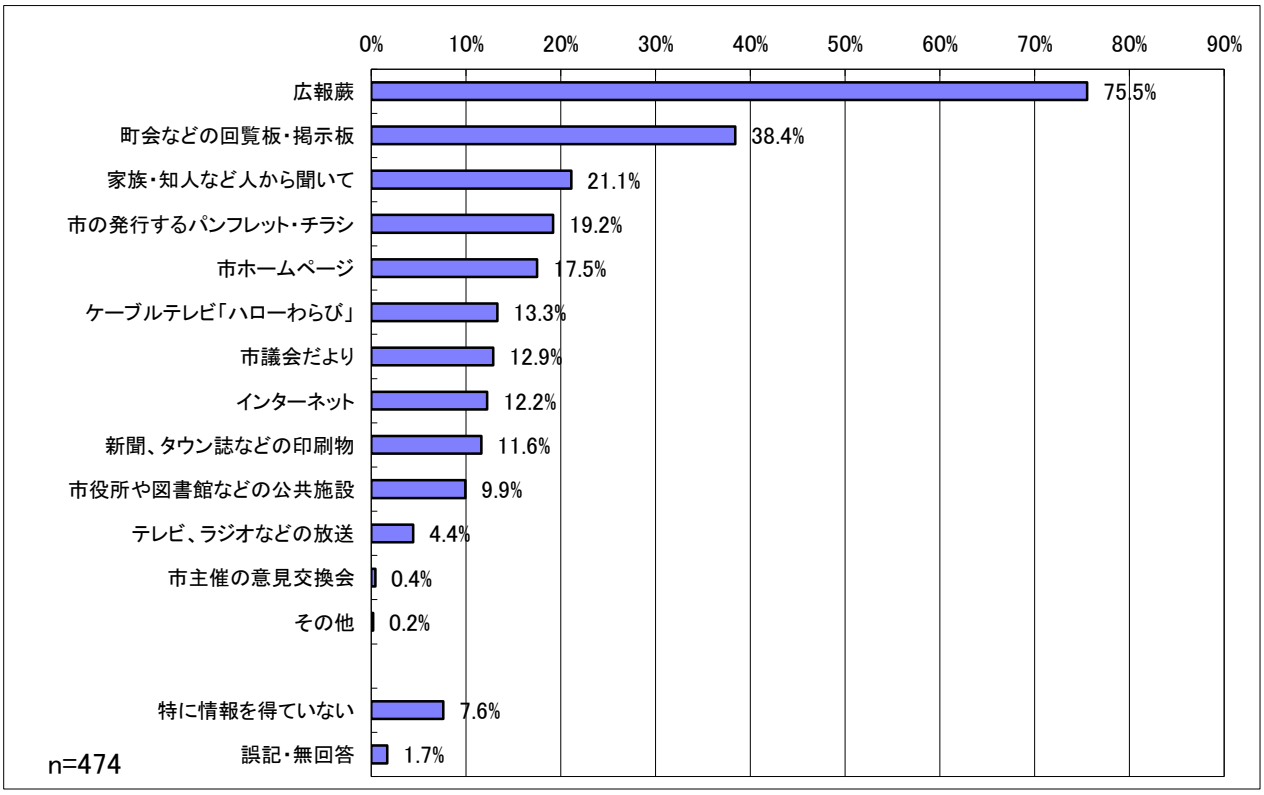
●市政の計画づくりやまちづくりへの参加について（平成24年度からの推移）



※平成26年度から一部選択肢の表現を見直し

問25 あなたは、市の情報を得るときに、どのような方法を利用していますか。
（○印はいくつでも）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
広報蕨	358	75.5%	1
町会などの回覧板・掲示板	182	38.4%	2
家族・知人など人から聞いて	100	21.1%	3
市の発行するパンフレット・チラシ	91	19.2%	4
市ホームページ	83	17.5%	5
ケーブルテレビ「ハローわらび」	63	13.3%	6
市議会だより	61	12.9%	7
インターネット	58	12.2%	8
新聞、タウン誌などの印刷物	55	11.6%	9
市役所や図書館などの公共施設	47	9.9%	10
テレビ、ラジオなどの放送	21	4.4%	11
市主催の意見交換会	2	0.4%	12
その他	1	0.2%	―
特に情報を得ていない	36	7.6%	
誤記・無回答	8	1.7%	

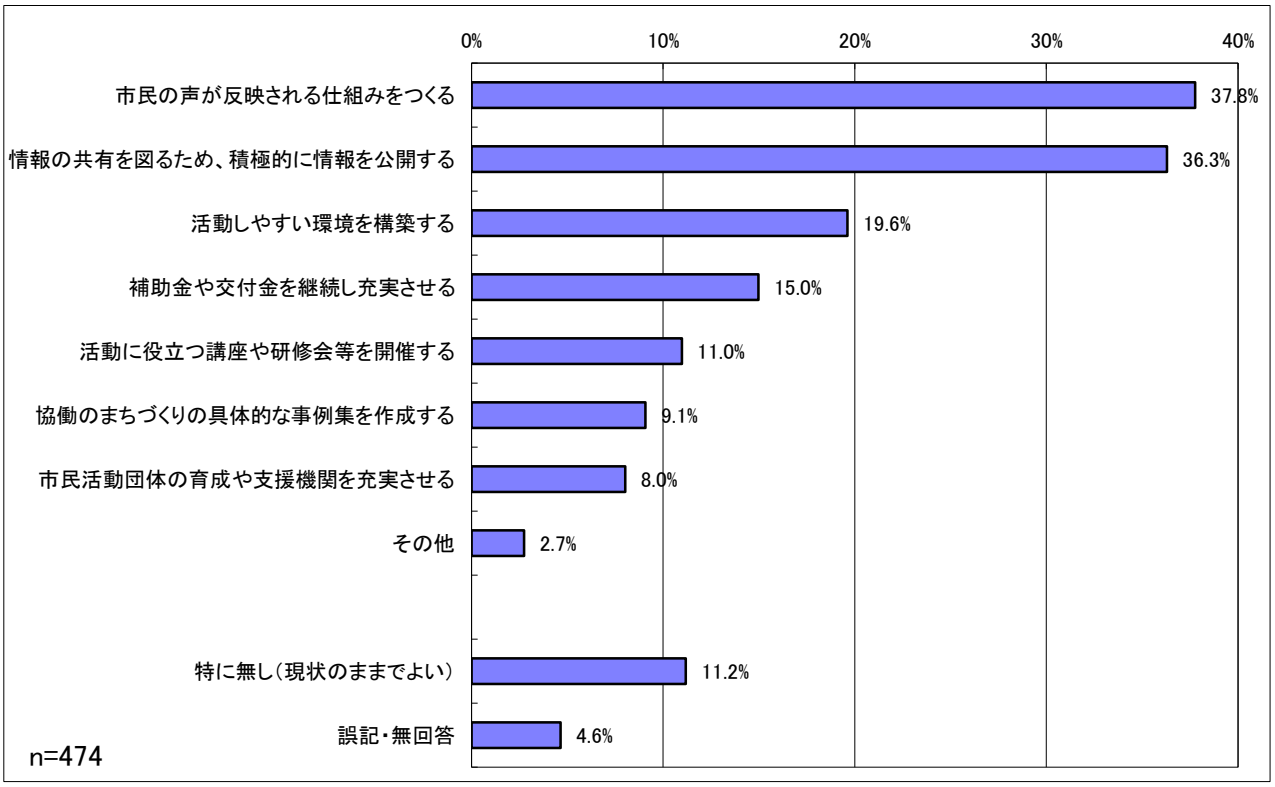


市の情報を得るときに、どのような方法を利用しているかたずねたところ、「広報蕨」が75.5%と最も多く、次いで、「町会などの回覧板・掲示板」が38.4%、「家族・知人など人から聞いて」が21.1%と続いています。

＜協働のまちづくりについて＞

問26 市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきだと思いますか。（○印は2つ以内）

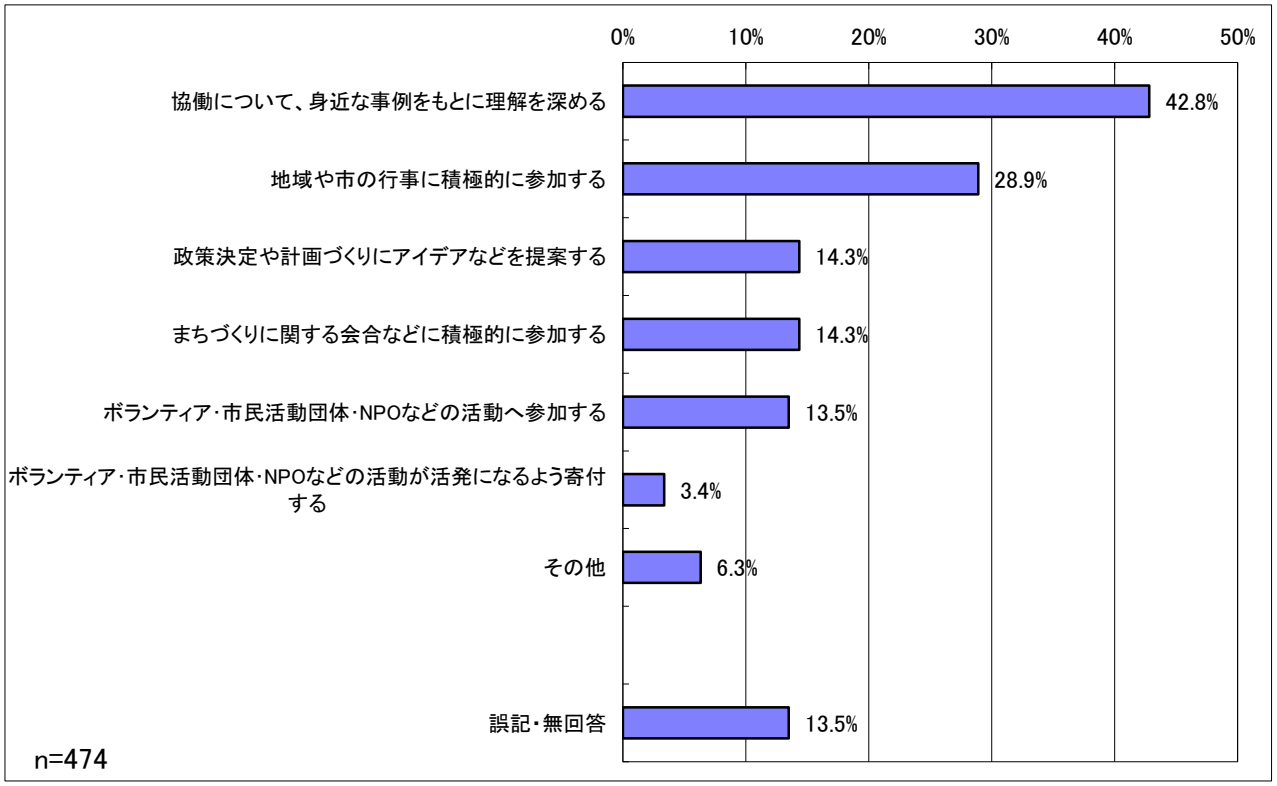
回答対象者：474人	件数	割合	順位
市民の声が反映される仕組みをつくる	179	37.8%	1
情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する	172	36.3%	2
活動しやすい環境を構築する	93	19.6%	3
補助金や交付金を継続し充実させる	71	15.0%	4
活動に役立つ講座や研修会等を開催する	52	11.0%	5
協働のまちづくりの具体的な事例集を作成する	43	9.1%	6
市民活動団体の育成や支援機関を充実させる	38	8.0%	7
その他	13	2.7%	－
特に無し（現状のままでよい）	53	11.2%	－
誤記・無回答	22	4.6%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、行政はどのような取り組みを充実・改善すべきかたずねたところ、「市民の声が反映される仕組みをつくる」が37.8%、次いで「情報の共有を図るため、積極的に情報を公開する」が36.3%、「活動しやすい環境を構築する」が19.6%と続いています。

問27 協働によるまちづくりを進めるには、あなたは何をすればよいと思いますか。（○印は2つ以内）

回答対象者：474人	件数	割合	順位
協働について、身近な事例をもとに理解を深める	203	42.8%	1
地域や市の行事に積極的に参加する	137	28.9%	2
政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する	68	14.3%	3
まちづくりに関する会合などに積極的に参加する	68	14.3%	3
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動へ参加する	64	13.5%	5
ボランティア・市民活動団体・NPOなどの活動が活発になるよう寄付する	16	3.4%	6
その他	30	6.3%	－
誤記・無回答	64	13.5%	



市民との協働によるまちづくりを進めるために、何をすればよいかたずねたところ、「協働について、身近な事例をもとに理解を深める」が42.8%、次いで「地域や市の行事に積極的に参加する」が28.9%、「政策決定や計画づくりにアイデアなどを提案する」、「まちづくりに関する会合などに積極的に参加する」が14.3%と続いています。

● **重点施策（重要度）**　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問28	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

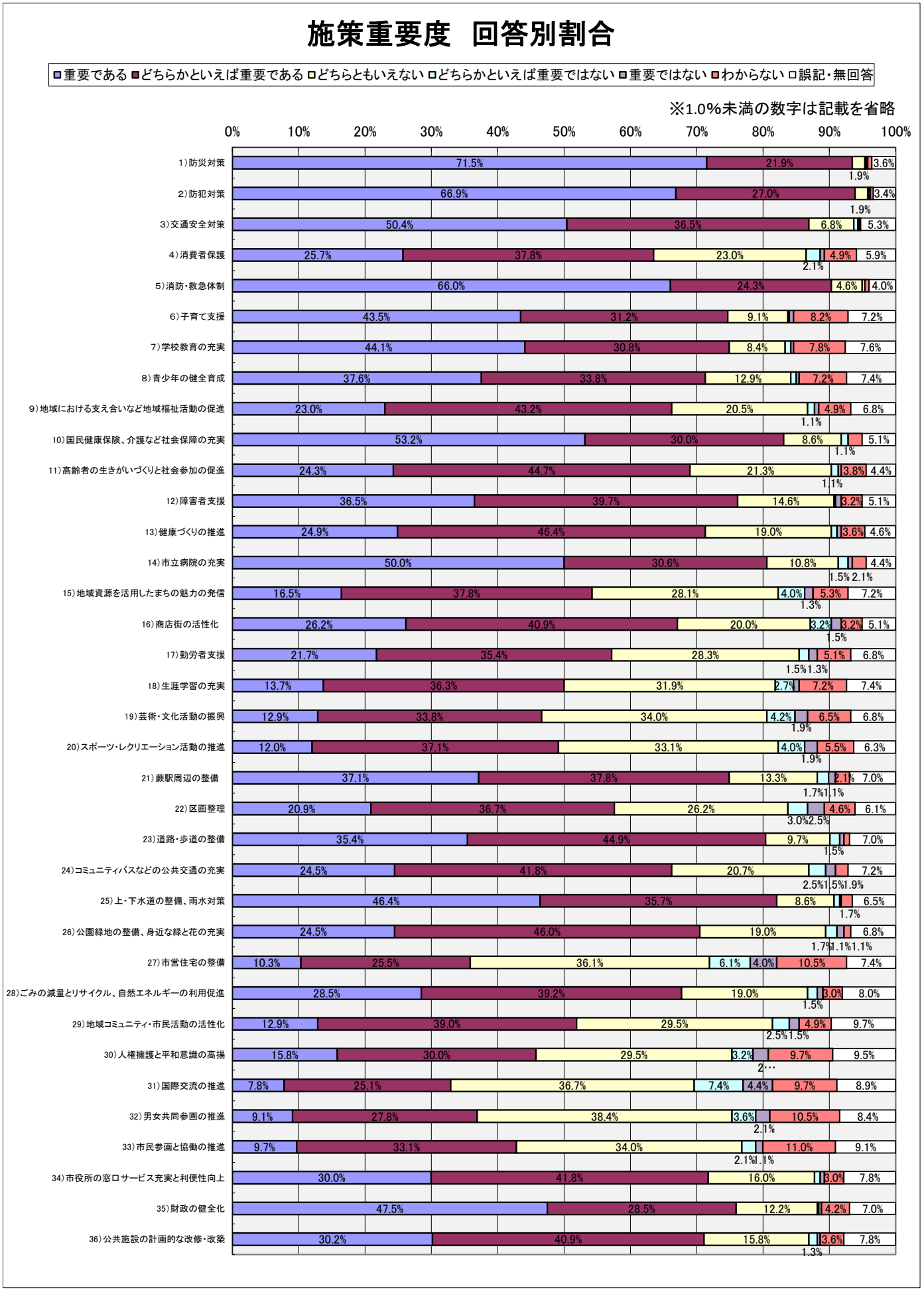
１：重要である　２：どちらかといえば重要である　３：どちらともいえない
４：どちかといえば重要ではない　５：重要ではない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
１）防災対策	339	104	9	1	1	3	17	4.72	1(3)
２）防犯対策	317	128	9	1	1	2	16	4.66	2(2)
３）交通安全対策	239	173	32	3	1	1	25	4.44	5(6)
４）消費者保護	122	179	109	10	3	23	28	3.96	22(17)
５）消防・救急体制	313	115	22	2	0	3	19	4.63	3(1)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
６）子育て支援	206	148	43	1	3	39	34	4.38	8(7)
７）学校教育の充実	209	146	40	4	2	37	36	4.39	6(4)
８）青少年の健全育成	178	160	61	4	2	34	35	4.25	11(10)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	109	205	97	5	3	23	32	3.98	21(20)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	252	142	41	5	0	10	24	4.46	4(8)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	115	212	101	5	2	18	21	4.00	19(19)
12）障害者支援	173	188	69	1	4	15	24	4.21	13(12)
13）健康づくりの推進	118	220	90	4	3	17	22	4.03	18(23)
14）市立病院の充実	237	145	51	7	3	10	21	4.37	10(15)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	78	179	133	19	6	25	34	3.73	27(27)
16）商店街の活性化	124	194	95	15	7	15	24	3.95	23(21)
17）勤労者支援	103	168	134	7	6	24	32	3.85	25(25)
18）生涯学習の充実	65	172	151	13	4	34	35	3.69	28(31)
19）芸術・文化活動の振興	61	160	161	20	9	31	32	3.59	33(33)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	57	176	157	19	9	26	30	3.61	31(32)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	176	179	63	8	5	10	33	4.19	14(11)
22）区画整理	99	174	124	14	12	22	29	3.79	26(26)
23）道路・歩道の整備	168	213	46	7	3	4	33	4.23	12(14)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	116	198	98	12	7	9	34	3.94	24(22)
25）上・下水道の整備、雨水対策	220	169	41	4	1	8	31	4.39	7(9)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	116	218	90	8	5	5	32	3.99	20(24)
27）市営住宅の整備	49	121	171	29	19	50	35	3.39	35(36)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	135	186	90	7	4	14	38	4.05	17(16)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	61	185	140	12	7	23	46	3.69	28(28)
30）人権擁護と平和意識の高揚	75	142	140	15	11	46	45	3.67	30(30)
31）国際交流の推進	37	119	174	35	21	46	42	3.30	36(35)
32）男女共同参画の推進	43	132	182	17	10	50	40	3.47	34(34)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	46	157	161	10	5	52	43	3.60	32(29)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	142	198	76	4	3	14	37	4.12	16(13)
35）財政の健全化	225	135	58	1	2	20	33	4.38	9(5)
36）公共施設の計画的な改修・改築	143	194	75	6	2	17	37	4.12	15(18)

施策重要度平均	4.03

施策重要度　回答別割合


重要である
どちらかといえば重要である
どちらともいえない
どちらかといえば重要ではない
重要ではない
わからない
誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 71.5% 21.9% 1.9% 3.6%
2）防犯対策 66.9% 27.0% 1.9% 3.4%
3）交通安全対策 50.4% 36.5% 6.8% 5.3%
4）消費者保護 25.7% 37.8% 23.0% 2.1% 4.9% 5.9%
5）消防・救急体制 66.0% 24.3% 4.6% 4.0%
6）子育て支援 43.5% 31.2% 9.1% 8.2% 7.2%
7）学校教育の充実 44.1% 30.8% 8.4% 7.8% 7.6%
8）青少年の健全育成 37.6% 33.8% 12.9% 7.2% 7.4%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 23.0% 43.2% 20.5% 1.1% 4.9% 6.8%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 53.2% 30.0% 8.6% 1.1% 5.1%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 24.3% 44.7% 21.3% 1.1% 3.8% 4.4%
12）障害者支援 36.5% 39.7% 14.6% 3.2% 5.1%
13）健康づくりの推進 24.9% 46.4% 19.0% 3.6% 4.6%
14）市立病院の充実 50.0% 30.6% 10.8% 1.5% 2.1% 4.4%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 16.5% 37.8% 28.1% 4.0% 1.3% 5.3% 7.2%
16）商店街の活性化 26.2% 40.9% 20.0% 3.2% 1.5% 3.2% 5.1%
17）勤労者支援 21.7% 35.4% 28.3% 1.5% 1.3% 5.1% 6.8%
18）生涯学習の充実 13.7% 36.3% 31.9% 2.7% 7.2% 7.4%
19）芸術・文化活動の振興 12.9% 33.8% 34.0% 4.2% 1.9% 6.5% 6.8%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 12.0% 37.1% 33.1% 4.0% 1.9% 5.5% 6.3%
21）藤駅周辺の整備 37.1% 37.8% 13.3% 1.7% 1.1% 2.1% 7.0%
22）区画整理 20.9% 36.7% 26.2% 3.0% 2.5% 4.6% 6.1%
23）道路・歩道の整備 35.4% 44.9% 9.7% 1.5% 7.0%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 24.5% 41.8% 20.7% 2.5% 1.5% 1.9% 7.2%
25）上・下水道の整備、雨水対策 46.4% 35.7% 8.6% 1.7% 6.5%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 24.5% 46.0% 19.0% 1.7% 1.1% 1.1% 6.8%
27）市営住宅の整備 10.3% 25.5% 36.1% 6.1% 4.0% 10.5% 7.4%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 28.5% 39.2% 19.0% 1.5% 3.0% 8.0%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 12.9% 39.0% 29.5% 2.5% 1.5% 4.9% 9.7%
30）人権擁護と平和意識の高揚 15.8% 30.0% 29.5% 3.2% 2… 9.7% 9.5%
31）国際交流の推進 7.8% 25.1% 36.7% 7.4% 4.4% 9.7% 8.9%
32）男女共同参画の推進 9.1% 27.8% 38.4% 3.6% 2.1% 10.5% 8.4%
33）市民参画と協働の推進 9.7% 33.1% 34.0% 2.1% 1.1% 11.0% 9.1%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 30.0% 41.8% 16.0% 3.0% 7.8%
35）財政の健全化 47.5% 28.5% 12.2% 4.2% 7.0%
36）公共施設の計画的な改修・改築 30.2% 40.9% 15.8% 1.3% 3.6% 7.8%

平均値順（重要度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

順位	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	H27	H26	3か年平均	3か年平均との比較
1	1）防災対策	339	104	9	1	1	3	4.72	4.57	4.71	4.67	0.05
2	2）防犯対策	317	128	9	1	1	2	4.66	4.58	4.72	4.65	0.01
3	5）消防・救急体制	313	115	22	2	0	3	4.63	4.61	4.71	4.65	▲ 0.02
4	10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	252	142	41	5	0	10	4.46	4.30	4.48	4.41	0.05
5	3）交通安全対策	239	173	32	3	1	1	4.44	4.35	4.52	4.44	0.00
6	7）学校教育の充実	209	146	40	4	2	37	4.39	4.39	4.44	4.41	▲ 0.02
7	25）上・下水道の整備、雨水対策	220	169	41	4	1	8	4.39	4.23	4.45	4.36	0.03
8	6）子育て支援	206	148	43	1	3	39	4.38	4.35	4.40	4.38	0.00
9	35）財政の健全化	225	135	58	1	2	20	4.38	4.37	4.48	4.41	▲ 0.03
10	14）市立病院の充実	237	145	51	7	3	10	4.37	4.10	4.47	4.31	0.06
11	8）青少年の健全育成	178	160	61	4	2	34	4.25	4.20	4.30	4.25	0.00
12	23）道路・歩道の整備	168	213	46	7	3	4	4.23	4.12	4.32	4.22	0.01
13	12）障害者支援	173	188	69	1	4	15	4.21	4.14	4.30	4.22	▲ 0.01
14	21）蕨駅周辺の整備	176	179	63	8	5	10	4.19	4.15	4.28	4.21	▲ 0.02
15	36）公共施設の計画的な改修・改築	143	194	75	6	2	17	4.12	3.95	4.14	4.07	0.05
16	34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	142	198	76	4	3	14	4.12	4.14	4.27	4.18	▲ 0.06
17	28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	135	186	90	7	4	14	4.05	4.00	4.16	4.07	▲ 0.02
18	13）健康づくりの推進	118	220	90	4	3	17	4.03	3.85	4.04	3.97	0.06
19	11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	115	212	101	5	2	18	4.00	3.92	4.09	4.00	0.00
20	26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	116	218	90	8	5	5	3.99	3.83	4.12	3.98	0.01
21	9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	109	205	97	5	3	23	3.98	3.91	4.09	3.99	▲ 0.01
22	4）消費者保護	122	179	109	10	3	23	3.96	3.96	4.12	4.01	▲ 0.05
23	16）商店街の活性化	124	194	95	15	7	15	3.95	3.91	4.00	3.95	0.00
24	24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	116	198	98	12	7	9	3.94	3.88	4.00	3.94	0.00
25	17）勤労者支援	103	168	134	7	6	24	3.85	3.80	3.88	3.84	0.01
26	22）区画整理	99	174	124	14	12	22	3.79	3.76	3.92	3.82	▲ 0.03
27	15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	78	179	133	19	6	25	3.73	3.72	3.81	3.75	▲ 0.02
28	18）生涯学習の充実	65	172	151	13	4	34	3.69	3.57	3.72	3.66	0.03
29	29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	61	185	140	12	7	23	3.69	3.71	3.78	3.73	▲ 0.04
30	30）人権擁護と平和意識の高揚	75	142	140	15	11	46	3.67	3.61	3.75	3.68	▲ 0.01
31	20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	57	176	157	19	9	26	3.61	3.49	3.65	3.58	0.03
32	33）市民参画と協働の推進	46	157	161	10	5	52	3.60	3.64	3.74	3.66	▲ 0.06
33	19）芸術・文化活動の振興	61	160	161	20	9	31	3.59	3.47	3.57	3.54	0.05
34	32）男女共同参画の推進	43	132	182	17	10	50	3.47	3.43	3.59	3.50	▲ 0.03
35	27）市営住宅の整備	49	121	171	29	19	50	3.39	3.24	3.57	3.40	▲ 0.01
36	31）国際交流の推進	37	119	174	35	21	46	3.30	3.34	3.51	3.38	▲ 0.08
				施策重要度平均				4.03	3.96	4.11	4.04	▲ 0.01

●市民が重要と思う施策は、平均値からみると、１位「防災対策」（前年３位）、２位「防犯対策」（前年２位）、３位「消防・救急体制」（前年１位）となり、【安全で安心して暮らせるまち】の分野が上位を占めています。それに対し、「男女共同参画の推進」、「市営住宅の整備」、「国際交流の推進」などの施策は、重要度が下位となっており、各項目の順位はこれまでと似たような傾向となっています。

●施策全体の平均は前年度と比べて0.07ポイント上がっています。もっとも上昇している項目は、「市立病院の充実」の0.27ポイントで、「公共施設の計画的な改修・改築」、「健康づくりの推進」も0.2ポイント前後上昇しています。

●項目数・名称が同一となった平成26年度からの3年間を比較すると、「国際交流の推進」、「市役所の窓口サービス充実と利便性向上」、「市民参画と協働の推進」に下降傾向が見られます。

● **重点施策（満足度）**　※項目は、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン実現計画の柱に沿って掲載しています

問28	あなたにとって、次に示す市の施策の重要度・満足度はどのくらいですか。1～３６の各項目について、あなたの気持ちに近いものをそれぞれ１つずつお選びください

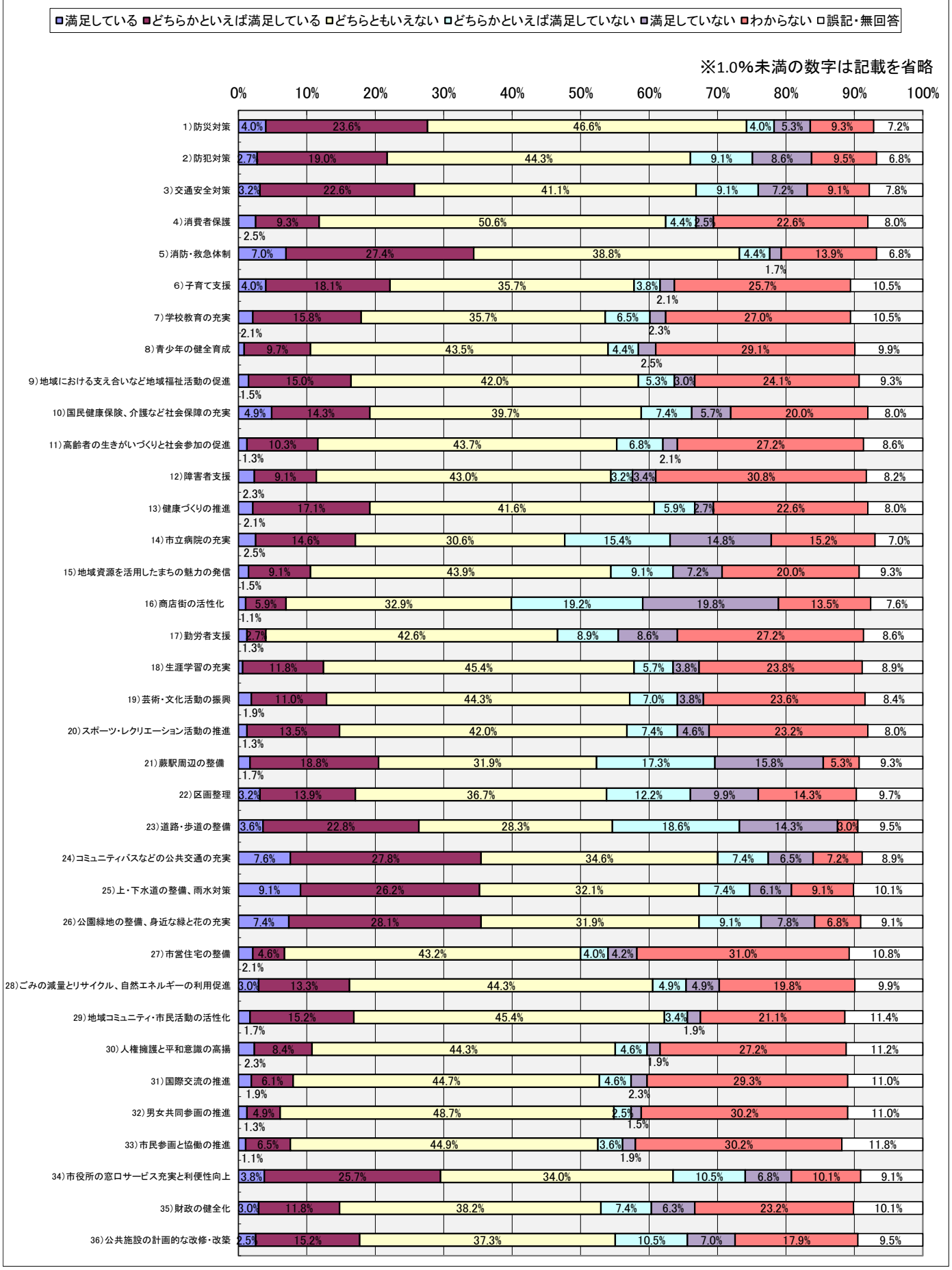
１：満足している　２：どちらかといえば満足している　３：どちらともいえない
４：どちかといえば満足していない　５：満足していない　６：わからない

（件）

	1	2	3	4	5	6	誤記・無回答	平均値	
【安全で安心して暮らせるまち】									（ ）内は昨年の順位
1）防災対策	19	112	221	19	25	44	34	3.20	6(2)
2）防犯対策	13	90	210	43	41	45	32	2.98	26(24)
3）交通安全対策	15	107	195	43	34	43	37	3.07	16(11)
4）消費者保護	12	44	240	21	12	107	38	3.07	14(18)
5）消防・救急体制	33	130	184	21	8	66	32	3.42	1(1)
【豊かな個性を育み子供たちの未来輝くまち】									
6）子育て支援	19	86	169	18	10	122	50	3.28	3(7)
7）学校教育の充実	10	75	169	31	11	128	50	3.14	9(12)
8）青少年の健全育成	4	46	206	21	12	138	47	3.03	19(23)
【みんなにあたたかく健康に生活できるまち】									
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	7	71	199	25	14	114	44	3.10	11(9)
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	23	68	188	35	27	95	38	3.07	13(15)
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	6	49	207	32	10	129	41	3.03	20(15)
12）障害者支援	11	43	204	15	16	146	39	3.06	17(13)
13）健康づくりの推進	10	81	197	28	13	107	38	3.14	8(6)
14）市立病院の充実	12	69	145	73	70	72	33	2.67	34(32)
【にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち】									
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	7	43	208	43	34	95	44	2.84	31(34)
16）商店街の活性化	5	28	156	91	94	64	36	2.36	36(36)
17）勤労者支援	6	13	202	42	41	129	41	2.67	35(33)
18）生涯学習の充実	3	56	215	27	18	113	42	3.00	24(21)
19）芸術・文化活動の振興	9	52	210	33	18	112	40	3.00	23(27)
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	6	64	199	35	22	110	38	2.99	25(25)
【快適で過ごしやすく環境にやさしいまち】									
21）蕨駅周辺の整備	8	89	151	82	75	25	44	2.69	33(35)
22）区画整理	15	66	174	58	47	68	46	2.84	30(30)
23）道路・歩道の整備	17	108	134	88	68	14	45	2.80	32(31)
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	36	132	164	35	31	34	42	3.27	4(3)
25）上・下水道の整備、雨水対策	43	124	152	35	29	43	48	3.31	2(8)
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	35	133	151	43	37	32	43	3.22	5(4)
27）市営住宅の整備	10	22	205	19	20	147	51	2.94	29(26)
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	14	63	210	23	23	94	47	3.07	15(22)
【一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち】									
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	8	72	215	16	9	100	54	3.17	7(5)
30）人権擁護と平和意識の高揚	11	40	210	22	9	129	53	3.08	12(10)
31）国際交流の推進	9	29	212	22	11	139	52	3.01	22(14)
32）男女共同参画の推進	6	23	231	12	7	143	52	3.03	18(17)
【その他】									
33）市民参画と協働の推進	5	31	213	17	9	143	56	3.02	21(20)
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	18	122	161	50	32	48	43	3.11	10(19)
35）財政の健全化	14	56	181	35	30	110	48	2.97	27(29)
36）公共施設の計画的な改修・改築	12	72	177	50	33	85	45	2.94	28(28)

施策満足度平均	3.02

施策満足度　回答別割合


満足している
どちらかといえば満足している
どちらともいえない
どちらかといえば満足していない
満足していない
わからない
誤記・無回答
※1.0%未満の数字は記載を省略
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
1）防災対策 4.0% 23.6% 46.6% 4.0% 5.3% 9.3% 7.2%
2）防犯対策 2.7% 19.0% 44.3% 9.1% 8.6% 9.5% 6.8%
3）交通安全対策 3.2% 22.6% 41.1% 9.1% 7.2% 9.1% 7.8%
4）消費者保護 9.3% 50.6% 4.4% 2.5% 22.6% 8.0% 2.5%
5）消防・救急体制 7.0% 27.4% 38.8% 4.4% 13.9% 6.8% 1.7%
6）子育て支援 4.0% 18.1% 35.7% 3.8% 25.7% 10.5% 2.1%
7）学校教育の充実 15.8% 35.7% 6.5% 27.0% 10.5% 2.1% 2.3%
8）青少年の健全育成 9.7% 43.5% 4.4% 29.1% 9.9% 2.5%
9）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進 15.0% 42.0% 5.3% 3.0% 24.1% 9.3% 1.5%
10）国民健康保険、介護など社会保障の充実 4.9% 14.3% 39.7% 7.4% 5.7% 20.0% 8.0%
11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 10.3% 43.7% 6.8% 27.2% 8.6% 1.3% 2.1%
12）障害者支援 9.1% 43.0% 3.2% 3.4% 30.8% 8.2% 2.3%
13）健康づくりの推進 17.1% 41.6% 5.9% 2.7% 22.6% 8.0% 2.1%
14）市立病院の充実 14.6% 30.6% 15.4% 14.8% 15.2% 7.0% 2.5%
15）地域資源を活用したまちの魅力の発信 9.1% 43.9% 9.1% 7.2% 20.0% 9.3% 1.5%
16）商店街の活性化 5.9% 32.9% 19.2% 19.8% 13.5% 7.6% 1.1%
17）勤労者支援 2.7% 42.6% 8.9% 8.6% 27.2% 8.6% 1.3%
18）生涯学習の充実 11.8% 45.4% 5.7% 3.8% 23.8% 8.9%
19）芸術・文化活動の振興 11.0% 44.3% 7.0% 3.8% 23.6% 8.4% 1.9%
20）スポーツ・レクリエーション活動の推進 13.5% 42.0% 7.4% 4.6% 23.2% 8.0% 1.3%
21）蕨駅周辺の整備 18.8% 31.9% 17.3% 15.8% 5.3% 9.3% 1.7%
22）区画整理 3.2% 13.9% 36.7% 12.2% 9.9% 14.3% 9.7%
23）道路・歩道の整備 3.6% 22.8% 28.3% 18.6% 14.3% 3.0% 9.5%
24）コミュニティバスなどの公共交通の充実 7.6% 27.8% 34.6% 7.4% 6.5% 7.2% 8.9%
25）上・下水道の整備、雨水対策 9.1% 26.2% 32.1% 7.4% 6.1% 9.1% 10.1%
26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実 7.4% 28.1% 31.9% 9.1% 7.8% 6.8% 9.1%
27）市営住宅の整備 4.6% 43.2% 4.0% 4.2% 31.0% 10.8% 2.1%
28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進 3.0% 13.3% 44.3% 4.9% 4.9% 19.8% 9.9%
29）地域コミュニティ・市民活動の活性化 15.2% 45.4% 3.4% 21.1% 11.4% 1.7% 1.9%
30）人権擁護と平和意識の高揚 8.4% 44.3% 4.6% 27.2% 11.2% 2.3% 1.9%
31）国際交流の推進 6.1% 44.7% 4.6% 29.3% 11.0% 1.9% 2.3%
32）男女共同参画の推進 4.9% 48.7% 2.5% 30.2% 11.0% 1.3% 1.5%
33）市民参画と協働の推進 6.5% 44.9% 3.6% 30.2% 11.8% 1.1% 1.9%
34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上 3.8% 25.7% 34.0% 10.5% 6.8% 10.1% 9.1%
35）財政の健全化 3.0% 11.8% 38.2% 7.4% 6.3% 23.2% 10.1%
36）公共施設の計画的な改修・改築 2.5% 15.2% 37.3% 10.5% 7.0% 17.9% 9.5%

平均値順（満足度）

※各項目の上位３つは黄色、下位３つは緑色で網掛け。

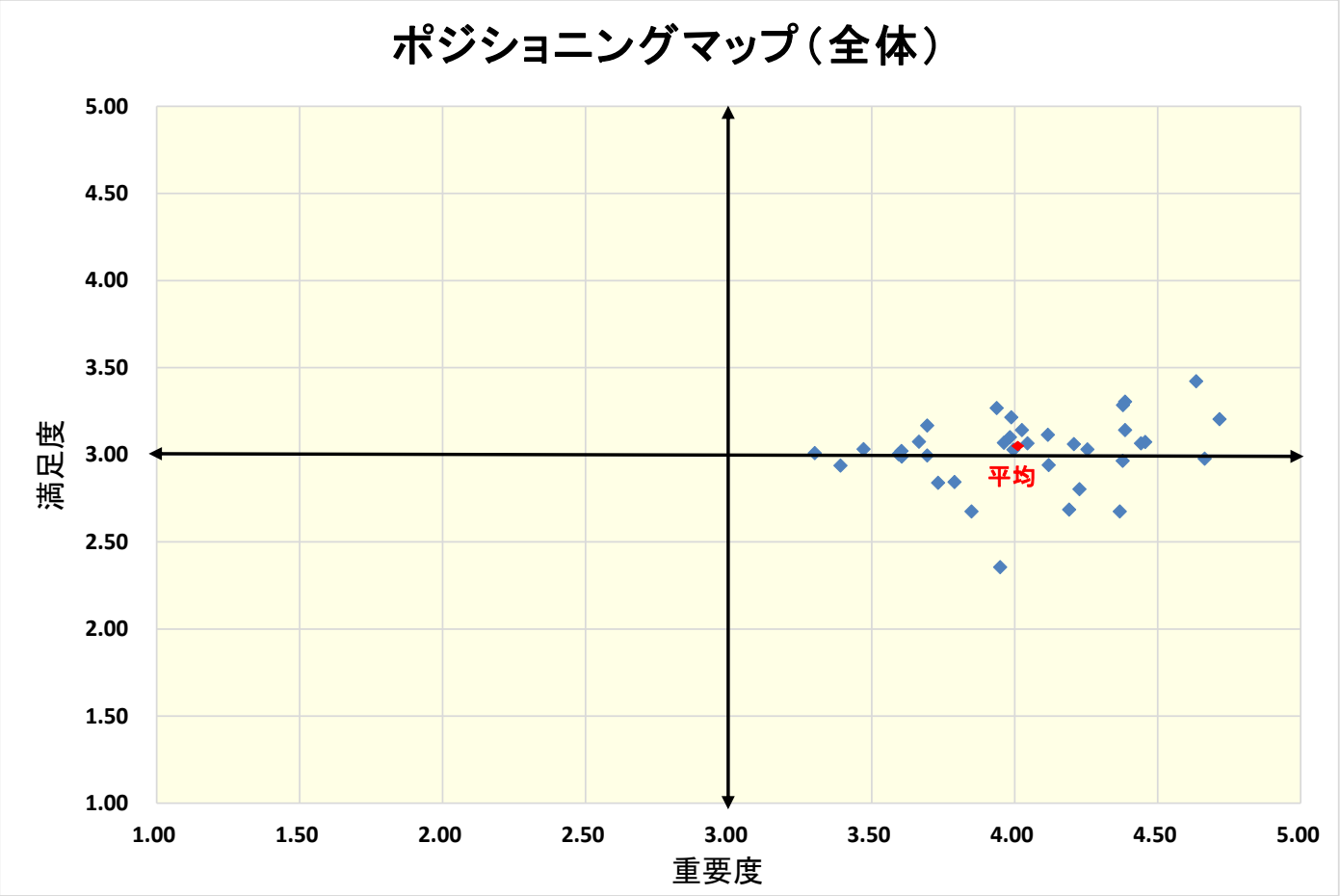
順位	項　目	1	2	3	4	5	6	平均値	H27	H26	3か年平均	3か年平均との比較
1	５）消防・救急体制	33	130	184	21	8	66	3.42	3.50	3.47	3.46	▲ 0.04
2	25）上・下水道の整備、雨水対策	43	124	152	35	29	43	3.31	3.09	3.28	3.23	0.08
3	６）子育て支援	19	86	169	18	10	122	3.28	3.10	3.23	3.20	0.08
4	24）コミュニティバスなどの公共交通の充実	36	132	164	35	31	34	3.27	3.13	3.28	3.23	0.04
5	26）公園緑地の整備、身近な緑と花の充実	35	133	151	43	37	32	3.22	3.11	3.26	3.20	0.02
6	１）防災対策	19	112	221	19	25	44	3.20	3.17	3.28	3.22	▲ 0.02
7	29）地域コミュニティ・市民活動の活性化	8	72	215	16	9	100	3.17	3.10	3.22	3.16	0.01
8	13）健康づくりの推進	10	81	197	28	13	107	3.14	3.10	3.24	3.16	▲ 0.02
9	７）学校教育の充実	10	75	169	31	11	128	3.14	3.01	3.16	3.10	0.04
10	34）市役所の窓口サービス充実と利便性向上	18	122	161	50	32	48	3.11	2.97	3.09	3.06	0.05
11	９）地域における支え合いなど地域福祉活動の促進	7	71	199	25	14	114	3.10	3.08	3.23	3.14	▲ 0.04
12	30）人権擁護と平和意識の高揚	11	40	210	22	9	129	3.08	3.06	3.13	3.09	▲ 0.01
13	10）国民健康保険、介護など社会保障の充実	23	68	188	35	27	95	3.07	3.00	3.16	3.08	▲ 0.01
14	４）消費者保護	12	44	240	21	12	107	3.07	2.99	3.13	3.06	0.01
15	28）ごみの減量とリサイクル、自然エネルギーの利用促進	14	63	210	23	23	94	3.07	2.95	3.07	3.03	0.04
16	３）交通安全対策	15	107	195	43	34	43	3.07	3.03	3.17	3.09	▲ 0.02
17	12）障害者支援	11	43	204	15	16	146	3.06	3.01	3.16	3.08	▲ 0.02
18	32）男女共同参画の推進	6	23	231	12	7	143	3.03	2.99	3.09	3.04	▲ 0.01
19	８）青少年の健全育成	4	46	206	21	12	138	3.03	2.94	3.08	3.02	0.01
20	11）高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進	6	49	207	32	10	129	3.03	3.00	3.15	3.06	▲ 0.03
21	33）市民参画と協働の推進	5	31	213	17	9	143	3.02	2.97	3.11	3.03	▲ 0.01
22	31）国際交流の推進	9	29	212	22	11	139	3.01	3.01	3.07	3.03	▲ 0.02
23	19）芸術・文化活動の振興	9	52	210	33	18	112	3.00	2.89	3.03	2.97	0.03
24	18）生涯学習の充実	3	56	215	27	18	113	3.00	2.96	3.03	3.00	0.00
25	20）スポーツ・レクリエーション活動の推進	6	64	199	35	22	110	2.99	2.91	3.08	2.99	0.00
26	２）防犯対策	13	90	210	43	41	45	2.98	2.91	3.06	2.98	0.00
27	35）財政の健全化	14	56	181	35	30	110	2.97	2.82	2.87	2.89	0.08
28	36）公共施設の計画的な改修・改築	12	72	177	50	33	85	2.94	2.87	2.92	2.91	0.03
29	27）市営住宅の整備	10	22	205	19	20	147	2.94	2.91	2.98	2.94	0.00
30	22）区画整理	15	66	174	58	47	68	2.84	2.78	2.96	2.86	▲ 0.02
31	15）地域資源を活用したまちの魅力の発信	7	43	208	43	34	95	2.84	2.66	2.82	2.77	0.07
32	23）道路・歩道の整備	17	108	134	88	68	14	2.80	2.75	2.89	2.81	▲ 0.01
33	21）蕨駅周辺の整備	8	89	151	82	75	25	2.69	2.61	2.77	2.69	0.00
34	14）市立病院の充実	12	69	145	73	70	72	2.67	2.69	2.84	2.73	▲ 0.06
35	17）勤労者支援	6	13	202	42	41	129	2.67	2.68	2.76	2.70	▲ 0.03
36	16）商店街の活性化	5	28	156	91	94	64	2.36	2.23	2.32	2.30	0.06
				施策満足度平均				3.02	2.94	3.07	3.01	0.01

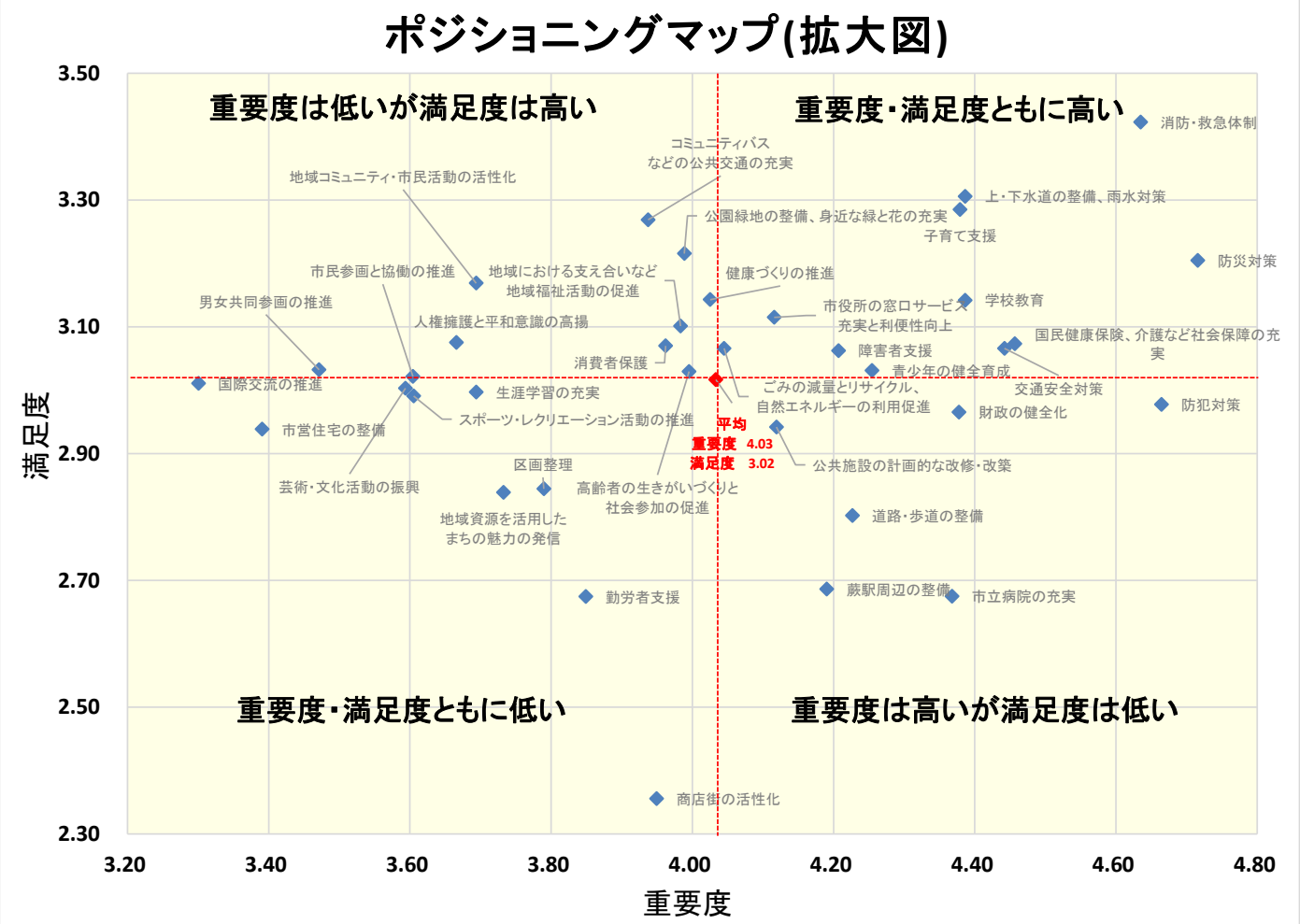
●市民の満足度が高い施策は、１位「消防・救急体制」（前年１位）、２位「上下水道の整備・雨水対策」（前年８位）、３位「子育て支援」（前年７位）となっています。それに対し、「商店街の活性化」、「市立病院の充実」、「勤労者支援」は、満足度が低くなっており、各項目の順位に若干の上下動が見られます。

●施策全体の平均は前年度と比べて0.08ポイント上がっており、「上水道の整備・雨水対策」、「子育て支援」、「地域資源を活用したまちの魅力の発信」が0.2ポイント前後と大きく上昇しています。

●項目数・名称が同一となった平成26年度からの3年間を比較すると、「財政の健全化」に上向きの動きが見られる一方で、「市立病院の充実」に下降傾向が見られます。

●満足度は「わからない」という回答が全体に多く、直接かかわりが実感しにくい施策については、その効果がよく分からないことが考えられます。そうした傾向が顕著な施策としては、「わからない」の割合が３割を超える「市営住宅の整備」、「市民参画・協働の推進」、「男女共同参画の推進」、「障害者支援」、「国際交流の推進」などが挙げられます。

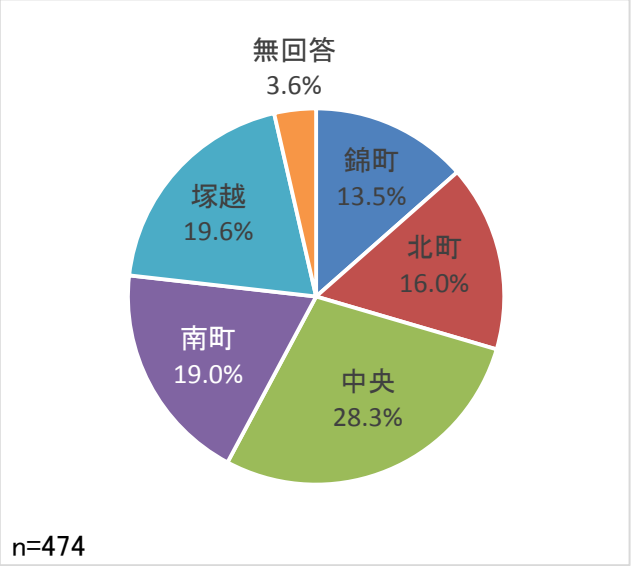

ポジショニングマップ（全体）
満足度
重要度
平均
5.00
4.50
4.00
3.50
3.00
2.50
2.00
1.50
1.00
1.00
1.50
2.00
2.50
3.00
3.50
4.00
4.50
5.00


ポジショニングマップ(拡大図)
重要度は低いが満足度は高い
重要度・満足度ともに高い
重要度・満足度ともに低い
重要度は高いが満足度は低い
満足度
重要度
平均
重要度 4.03
満足度 3.02
消防・救急体制
コミュニティバス
などの公共交通の充実
地域コミュニティ・市民活動の活性化
上・下水道の整備、雨水対策
公園緑地の整備、身近な緑と花の充実
子育て支援
防災対策
市民参画と協働の推進
地域における支え合いなど
地域福祉活動の促進
健康づくりの推進
男女共同参画の推進
学校教育
市役所の窓口サービス
充実と利便性向上
人権擁護と平和意識の高揚
国民健康保険、介護など社会保障の充実
障害者支援
消費者保護
青少年の健全育成
国際交流の推進
交通安全対策
生涯学習の充実
ごみの減量とリサイクル、
自然エネルギーの利用促進
防犯対策
財政の健全化
市営住宅の整備
スポーツ・レクリエーション活動の推進
公共施設の計画的な改修・改築
区画整理
芸術・文化活動の振興
高齢者の生きがいづくりと
社会参加の促進
地域資源を活用した
まちの魅力の発信
道路・歩道の整備
勤労者支援
蕨駅周辺の整備
市立病院の充実
商店街の活性化
3.50
3.30
3.10
2.90
2.70
2.50
2.30
3.20
3.40
3.60
3.80
4.00
4.20
4.40
4.60
4.80

【属　性】

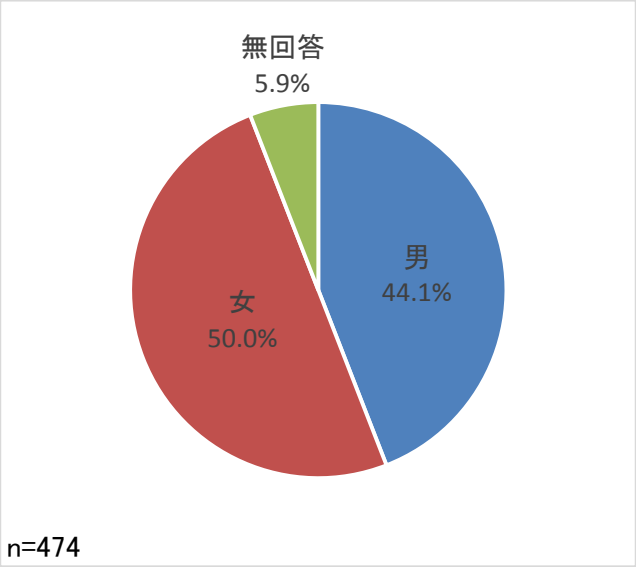
ア．地区

回答対象者:474人	件数	割合	参考 抽出割合
錦町	64	13.5%	14.0%
北町	76	16.0%	15.6%
中央	134	28.3%	29.1%
南町	90	19.0%	17.5%
塚越	93	19.6%	23.8%
無回答	17	3.6%	



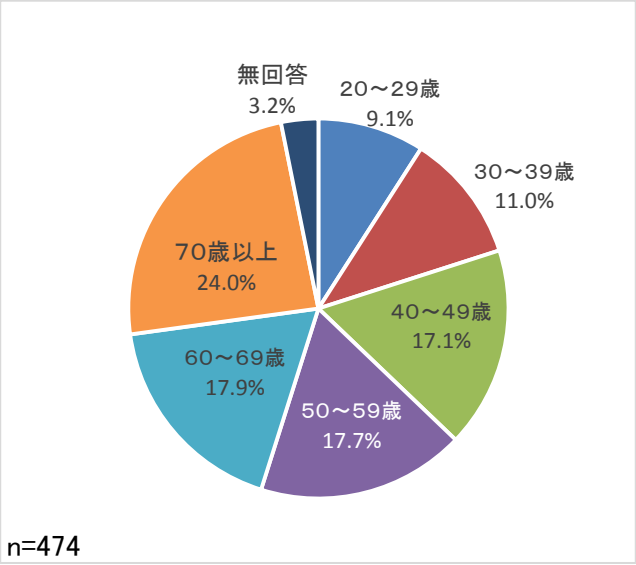
イ．性別

回答対象者:474人	件数	割合	参考 抽出割合
男	209	44.1%	50.9%
女	237	50.0%	49.1%
無回答	28	5.9%	



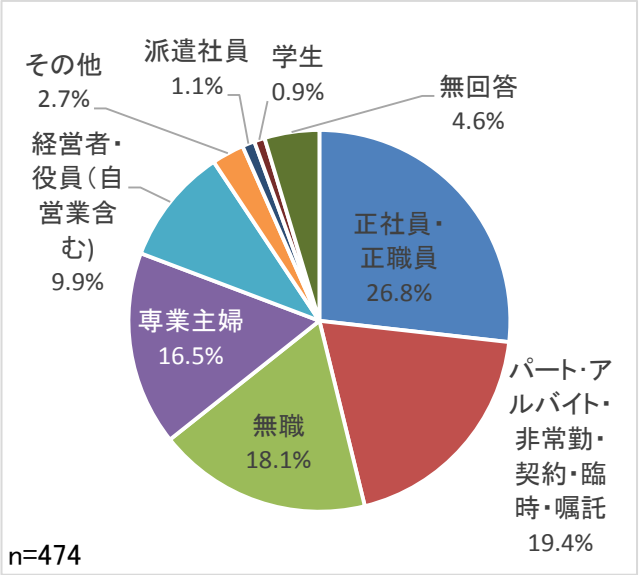
ウ．年齢層

回答対象者:474人	件数	割合	参考 抽出割合
20～29歳	43	9.1%	16.0%
30～39歳	52	11.0%	17.3%
40～49歳	81	17.1%	18.6%
50～59歳	84	17.7%	14.4%
60～69歳	85	17.9%	14.8%
70歳以上	114	24.0%	18.9%
無回答	15	3.2%	



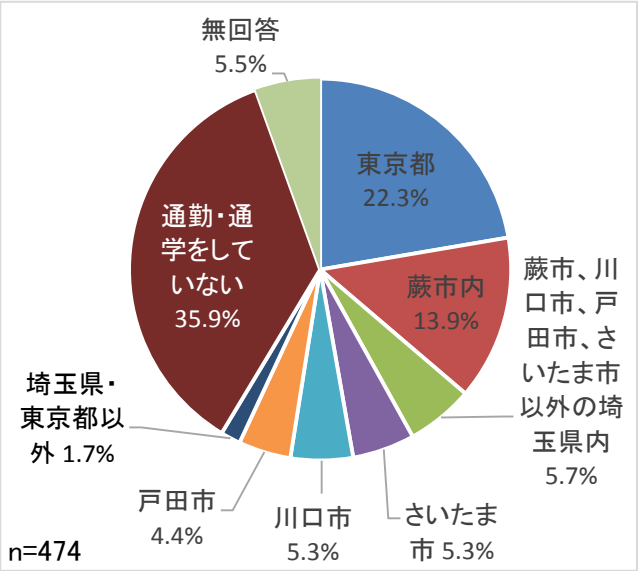
エ. 職業

回答対象者:474人	件数	割合	順位
正社員・正職員	127	26.8%	1
パート・アルバイト・非常勤・契約・臨時・嘱託	92	19.4%	2
無職	86	18.1%	3
専業主婦	78	16.5%	4
経営者・役員(自営業含む)	47	9.9%	5
その他	13	2.7%	6
派遣社員	5	1.1%	7
学生	4	0.9%	8
無回答	22	4.6%	



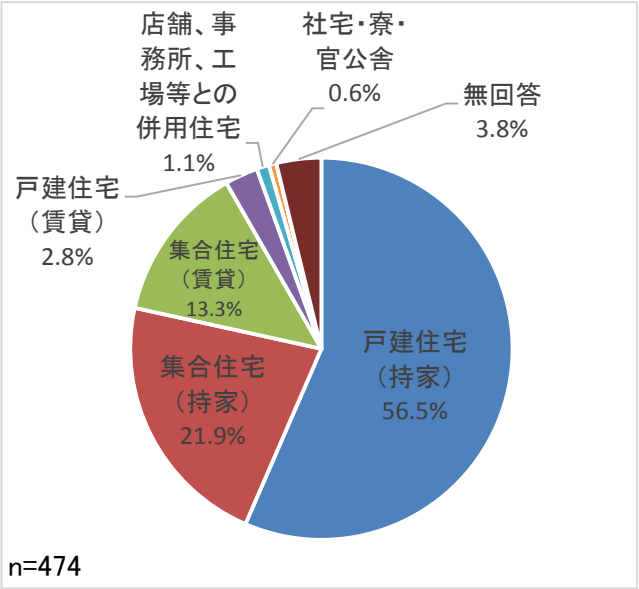
オ. 通勤・通学地

回答対象者:474人	件数	割合	順位
東京都	106	22.3%	1
蕨市内	66	13.9%	2
蕨市、川口市、戸田市、さいたま市以外の埼玉県内	27	5.7%	3
さいたま市	25	5.3%	4
川口市	25	5.3%	4
戸田市	21	4.4%	6
埼玉県・東京都以外	8	1.7%	7
通勤・通学をしていない	170	35.9%	
無回答	26	5.5%	



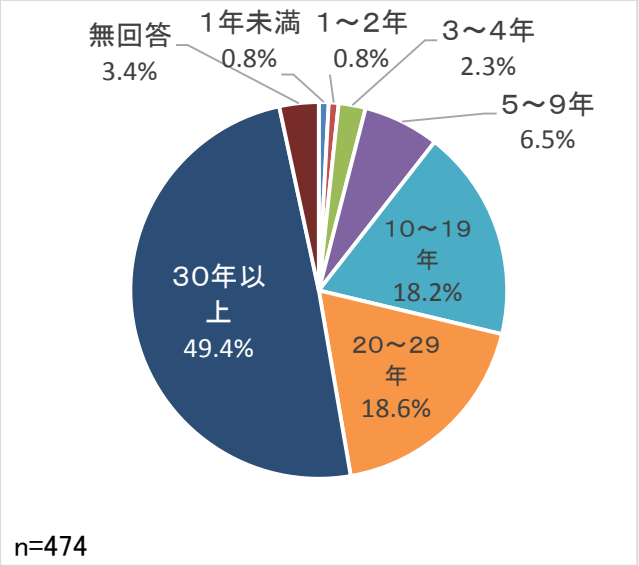
カ. 住宅形態

回答対象者:474人	件数	割合	順位
戸建住宅(持家)	268	56.5%	1
集合住宅(持家)	104	21.9%	2
集合住宅(賃貸)	63	13.3%	3
戸建住宅(賃貸)	13	2.8%	4
店舗、事務所、工場等との併用住宅	5	1.1%	5
社宅・寮・官公舎	3	0.6%	6
公営住宅(賃貸)	0	0.0%	7
無回答	18	3.8%	



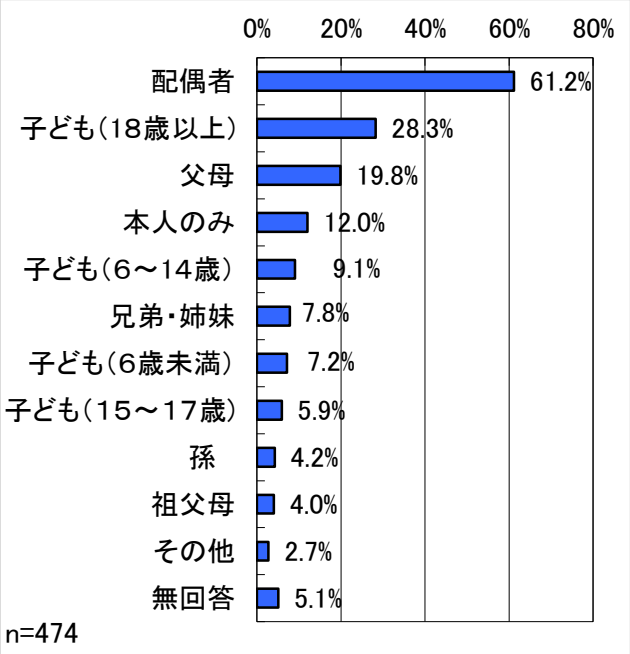
キ. 居住年数

回答対象者:474人	件数	割合	順位
1年未満	4	0.8%	6
1～2年	4	0.8%	6
3～4年	11	2.3%	5
5～9年	31	6.5%	4
10～19年	86	18.2%	3
20～29年	88	18.6%	2
30年以上	234	49.4%	1
無回答	16	3.4%	



ク. 家族構成

回答対象者:474人	件数	割合	順位
配偶者	290	61.2%	1
子ども(18歳以上)	134	28.3%	2
父母	94	19.8%	3
本人のみ	57	12.0%	4
子ども(6～14歳)	43	9.1%	5
兄弟・姉妹	37	7.8%	6
子ども(6歳未満)	34	7.2%	7
子ども(15～17歳)	28	5.9%	8
孫	20	4.2%	9
祖父母	19	4.0%	10
その他	13	2.7%	11
無回答	24	5.1%	



平成２８年度市民意識調査報告書

平成28年11月発行

発　行　　蕨　市
編　集　　蕨市総務部政策企画室

〒335－8501　蕨市中央5－14－15
電　　話　　048－433－7698
E-Mail　　seisaku@city.warabi.saitama.jp